

京都府出土の和同開珎

森島 康雄

I はじめに

京都府における和同開珎の出土例は不時発見や伝承・記録だけが残る例を含めて 86 件、670 枚以上を集成することができた。銀銭は見つかっていない。また、平安京や長岡京などの調査事例が多い大規模遺跡があるため、発掘調査によるものは調査回数ごとに件数を数えている。出土枚数は、不明のものを 1 と数えるなどして、最小に見積もった数字である。なお、今回の報告では、長岡京の条坊はすべて新条坊に統一している。

II 地域別の出土分布

旧国別では丹後に 1 例 1 枚、丹波に 1 例 20 枚ほどの例があるのみで、山城に著しく偏っている。山城の中では旧乙訓郡が 49 例 384 枚と最も多く、旧相楽郡が 5 例 169 枚とこれに次ぎ、平安京を含む旧葛野・愛宕郡は 17 例 56 枚、旧紀伊・宇治・久世・綴喜郡で 13 例 40 枚である。

これをみると、平城京に隣接し、恭仁京が営まれた旧相楽郡と長岡京が営まれた旧乙訓郡に集中する傾向が顕著である。

遺跡別にみると、長岡京が 38 件 71 枚(新条坊によって京外となった大山崎町の 2 例 2 枚と、長岡京内である可能性があるが出土地点が特定できない「石見上里村」の 300 枚以上は含まない)、平城京と恭仁京の間にある大木屋遺跡が 91 枚、鑄銭司が置かれたとされる銭司遺跡が 50 枚、平城京の外港とされる上津遺跡が 23 枚を数え、長岡京で件数が多く、旧相楽郡で 1 遺跡の出土枚数が多い。平安京は 12 例 21 枚である。これら以外の遺跡では、北山花園山で 30 余枚、千代川町北ノ庄で 20 枚ほどが発見された例など詳細が分からない事例を除外すると、古山陰道に近接する内里八丁遺跡の 11 枚を除いて複数発見される例がない。和同開珎が複数出土する例は京内と交通路上に集中するといえるだろう。ただし、長岡宮朝堂院の包含層から出土した 1 枚を除いて宮域からの出土例がなく、恭仁宮でも出土例がない。平安宮は未報告資料も多く、筆者の資料調査が不十分な面もあるが、管見の範囲では出土例がなく、宮域からの出土はほとんどないといえるだろう。

III 出土遺構別の様相

和同開珎を出土する遺構数は、溝が 25 例、土坑が 13 例、流路が 8 例、井戸が 6 例、建物・ピットが 5 例、掘形なしが 4 例、石室が 2 例、木棺墓が 1 例を数える。溝出土の内訳は、条坊側溝 16 例、町内溝 4 例、西国街道側溝 2 例が含まれる。

① 条坊側溝

条坊側溝から出土する事例は長岡京の各所で認められる。1地点で出土する錢貨の枚数は少ないことが多いが、長岡京左京 89 次(図 10)では一条大路南側溝 SD8903 に架かる橋の周辺に和同開珎 5 枚と神功開寶 10 枚が集中して出土することが報告されている。この調査では墨書人面土器・ミニチュア竈・土馬が橋の下流から出土している。また、長岡京左京 204 次(図 19)では東一坊大路西側溝から和同開珎 1 枚、萬年通寶 2 枚、神功開寶 4 枚が出土している。この調査では東一坊大路西面に位置する下級官人宅内から錢貨と土師器を伴う埋納土坑が複数検出され、他の遺構などを含めると総数 60 点もの皇朝十二銭と、齋串・土馬・素文鏡などが出土している。さらに、長岡京左京 218 次(図 22)SD21801 では和同開珎・萬年通寶・神功開寶各 1 枚と「大一」「福集」の墨書土器、「宍」肉苜札木簡が出土し、祭祀が行われた可能性が指摘されている。平安京では、右京八条二坊二町(図 5)の西鞞負小路東側溝を検出した事例で、遺構ごとの出土点数が報告されていないものの和同開珎を含む多数の錢貨とともに多量の祭祀遺物が出土している。

このように、和同開珎などが複数出土する調査地点で祭祀関係遺物が多く出土する事例をいくつか提示できるが、現状では両者の関連性については不明である。

平安京右京六条三坊(図 4)では樋口小路北側溝想定位置を西流し、馬代小路の手前 15m で、南に折れ、七町内を斜めに横切って馬代小路に流れる流路 SR4200 で和同開珎 1 枚と多量の祭祀遺物が出土している。この事例は条坊側溝に相当する遺構ではあるが、条坊側溝そのものではなく、和同開珎も 1 枚出土しているだけであるが、調査全体では多数の皇朝十二銭が出土している。また、長岡京左京 269 次では町内溝から和同開珎 1 枚、萬年通寶 1 枚と土馬、ミニチュア竈・鍋、齋串などの祭祀遺物が出土している。このような事例も合わせて、祭祀の内容まで含めた検討が必要であろう。

表① 条坊側溝出土の和同開珎一覧

遺跡・出土地名	遺構	出土錢貨の内容
長岡京左京 087 次	SD8709: 東二坊大路西側溝。土馬・墨書人面土器・櫛等共伴。	和同開珎銅錢 1。
長岡京左京 089 次	SD8903: 一条大路南側溝、橋の周辺に集中。	和同開珎銅錢 5、神功開寶 10。
長岡京左京 104 次	SD30: 三条条間南小路北側溝。	和同開珎銅錢 1。
長岡京左京 120 次	SD12031: 東二坊坊間西小路東側溝。	和同開珎銅錢 1、萬年通寶 1、神功開寶 1。
長岡京左京 204 次	SD20414: 東一坊坊間東小路西側溝。	和同開珎銅錢 1、萬年通寶 2、神功開寶 4。
長岡京左京 212 次	SD21222: 東二坊坊間西小路西側溝。	和同開珎銅錢 1、萬年通寶 1、神功開寶 1。
長岡京左京 214 次	SD19603E: 三条条間小路北側溝。	和同開珎銅錢 1。

長岡京左京 218 次	SD21801:東二坊大路西側溝。	和同開珎銅錢 1、萬年通寶 1、神功開寶 1。
長岡京左京 474 次	SD47420:三条大路北側溝。	和同開珎銅錢 1。
長岡京左京 486 次	SD48614:二条条間大路北側溝。	和同開珎銅錢 1、神功開寶 3。
長岡京右京 007 次	SD0731:西二坊大路東側溝。	和同開珎銅錢 1。
長岡京右京 077 次	SD7701:西一坊大路東側溝。	和同開珎銅錢 1、神功開寶 1。
長岡京右京 126 次	SD12601:西一坊坊間西小路西側溝。	和同開珎銅錢 1。
長岡京右京 239 次	SD23904B:三条大路南側溝。	和同開珎銅錢 1、神功開寶 1。
長岡京右京 335 次	SD33501:西二坊大路東側溝。	和同開珎銅錢 1。
長岡京右京 475 次	SD47503:六条条間南小路南側溝、橋?付近。	和同開珎銅錢 2。
平安京右京 6・3	SR4200:樋口小路北側溝想定位置を西流し、馬代小路の手前15mで、南に折れ、七町内を斜めに横切って馬代小路に流れる流路。	和同開珎銅錢 1。
平安京右京 8・2・2	西鞍負小路東側溝。西市の南に隣接。	未報告。

② 土坑ほか

土坑出土の事例は 13 例を数える。ここでは、掘形がみつからないものも含めて、意図的に埋納されたと考えられる事例を中心に報告したい。

宅地内の事例は 4 例あり、地鎮もしくは胎衣埋納遺構とされている。

長岡京左京 204 次(図 19)では、東一坊坊間東小路西面の七条一坊九町の 1/8 を占めるとみられる下級官人の宅地が検出された。宅地北半の 3 棟の建物に囲まれたところに土師器甕や銭貨を埋納した小土坑が 4 基検出されている。銭貨の組み合わせは SX20438 が和同開珎 1・萬年通寶 1・神功開寶 5、SX20439 が和同開珎 4・萬年通寶 4・神功開寶 10・不明 2、SX20440 が萬年通寶 1・神功開寶 3 である。

長岡京右京 389 次(図 33)では、五条二坊十三町の宅地内から、甕に納められた銭貨が 2 か所で検出されているが、いずれも掘形はみつからない。SX07 は正置した土師器甕の底に和同開珎 1・萬年通寶 1・神功開寶 2・不明 1 を、銭文を上にして並べて置き、粘土で覆っていた。銭には布が付着していた。蓋と思われる土師器皿の小片が甕内から出土している。SX08 は正置した土師器甕の底に神功開寶 1・不明 4 を、銭文を上にして重ねて置いていた。蓋は土師器皿を使用している。長岡京左京 118 次(図 13)では左京一条二坊十二町の南半分を占める宅地の南西部から和同開珎銅錢 1・萬年通寶 1・神功開寶 4 が土師器皿 C 10 個体以上と共に集中して出土したが掘形は検出されなかった。西浦遺跡では、奈良時代中頃の南北棟 2 棟の東側で須恵器壺に入った和同開珎 4 点が検出されているが掘形は見つからない。

道路関連の事例は 3 例ある。

長岡京左京 215 次(図 23)では、東二坊大路と七条条間小路の交差点で、和同開珎 1・萬年通

寶1・神功開寶1と櫛を納めた曲物を土師器甕に入れて埋納した土坑が検出されている。土坑が検出された位置は七条条間小路北側溝の延長線上の東二坊大路路面である。長岡京左京361次(図24)では、東三坊大路と二条条間北小路の交差点で木製容器に錢貨を納められたとみられる土坑が検出されている。錢貨の内容は、和同開珎1・萬年通寶1・神功開寶1である。土坑が検出された位置は二条条間北小路南側溝の延長線上の東三坊大路路面で、左京215次調査と共通する。これらは、辻の祭祀とみることができようが、左京361次では、交差点内の長岡京期と同じ面で弥生時代中期の方形周溝墓が接続して検出されており、長岡京造営に際して削平されたものと思われる。祭祀が行われる契機になった可能性が高いと考えられる。長岡京右京376次(図32)では長岡京造営時に削平された古墳周溝の上層から和同開珎1・神功開寶1・不明15が布に包まれて出土した例がある。

内里八丁遺跡(図42)では、古山陰道の側溝に繋がる土坑底面から和同開珎11・萬年通寶1・神功開寶1と銅製銚帯が狭い範囲で出土し、土坑最下層からは墨書土器・土馬・獣骨などが出土している。この土坑は径10mを越える池状の土坑で、他の事例が数10cm程度の土坑に埋置された状態であるのに対して、土坑底の狭い範囲にばら撒かれたような状態であり、少し趣が異なる。しかし、多数の錢貨がまとまって出土した状況は、偶然の結果とは考えにくい。この土坑には路面の下を通過して暗渠の導水管で水が導かれていたと考えられ、水にまつわる何らかの祭祀に伴うものとみることができる。あるいは、条坊側溝などの例と共通点を見出せるのかもしれない。

長岡京右京740次(図36)は、流路肩の湧水土坑から和同開珎6・萬年通寶16・神功開寶36・不明14が緞錢の状態出土したもので、これも水にまつわる祭祀遺構とされている。

③ その他

祭祀遺跡の事例には梅ヶ畑祭祀遺跡(図7)がある。標高135mの丘陵頂部から斜面にかけて、錢貨のほか、土師器・須恵器・仏画線刻石製品・二彩陶器・緑釉陶器・灰釉陶器・製塩土器・砥石などが多量に出土した。奈良時代中期には仏教的な祭祀が行われ、遺物は西斜面に投棄された。平安時代前期前半は遺跡の最盛期で灯明や煮炊に用いられた土器類や錢貨が北東斜面に投棄された。平安時代前期後半には頂部を整地して祭壇状の遺構が作られ、東斜面に投棄された。平安時代前期前半からの祭祀は、遺物の内容や量の多さから、国家的祭祀の可能性が指摘されている。なお、丘陵頂部からは平安京は見通せない。

木棺墓から出土した事例は長岡京左京215次SX278の1例のみである(図23-2)。東二坊大路上で流路SD285に平行して作られた木棺墓で、和同開珎1・萬年通寶1・神功開寶4が木棺の四隅と長辺の中央に置かれていた様子を窺うことができる。このほか、尼塚5号墳(図43)・福西18号墳で石室内から出土している。

井戸から出土した例は6例あるが、水溜めの曲物内など井筒の底部で出土したものについては意図的な埋納か、偶然かを判断することが難しい。

IV 共伴する錢貨の組み合わせ

皇朝十二錢が複数出土する場合に、和同開珎・萬年通寶・神功開寶の3種は共伴する例が多い

のに対して、隆平永寶以後の銭貨は同じ銭種だけで出土する場合が多い。この点については、以前『出土銭貨研究』第22号に小文をまとめたことがあるので、以下に数値を最新データに更新のうえ、関係部分を再掲したい。

表②は複数銭種が共伴して出土した67例の一覧である。なお、出土点数が不明のものは除いている。この表を見ると、和同開珎・萬年通寶・神功開寶の3種の共伴例は17例、和同開珎と萬年通寶の共伴例は18例、和同開珎と神功開寶の共伴例は23例、萬年通寶と神功開寶の共伴例は32例を数えることがわかる。

一方、和同開珎・萬年通寶・神功開寶が隆平永寶以降の銭と共伴した例は極めて少ない。和同開珎が他の銭と共伴した25例のうち2例、萬年通寶が他の銭と共伴した37例のうち4例、神功開寶が他の銭と共伴した42例のうち5例のみが隆平永寶以降の銭と共伴した例である。しかも、これらの数少ない例には、溝や沼状遺構などから出土し、同時に埋没したとは言えないものも含まれている。

このことから、

- 1) 和同開珎・萬年通寶・神功開寶は同時に使用されていた。
 - 2) 和同開珎・萬年通寶・神功開寶は、隆平永寶発行後、ほどなく、ほぼ姿を消した。
- ことを推定することができるだろう。

それでは、この時代の貨幣政策はどのようなものであったのだろうか。栄原氏の著書によって年表風にまとめると、

和銅元(708)年 和同開珎発行。

天平宝字4(760)年 萬年通寶発行。和同開珎の10倍価で適用。

天平神護元(765)年 神功開寶発行。萬年通寶の10倍価で通用か？

宝龜3(772)年 和同開珎の使用を禁止し、萬年通寶と神功開寶を等価通用に。

宝龜10(779)年 和同開珎・萬年通寶・神功開寶を等価通用に。

延暦15(796)年 隆平永寶発行。和同開珎・萬年通寶・神功開寶の10倍価で適用。

延暦19(800)年 和同開珎・萬年通寶・神功開寶の使用を禁止。

となる。

表②のうち、3種の銭が共伴している例は長岡京のものが多く、3種の銭が等価で通用していた時代にあたる。栄原氏は、「長岡京の跡からは、和同銅銭が萬年通寶や神功開寶と一緒に出土することが多い。しかし、平安京跡では、このようなことは目だって少なくなる。」傾向を正しく指摘しているものの、その評価については、「このような状況は、和同銅銭の流通の衰えを反映しているようにも思える。」(栄原1993 p.70)と述べるにとどまっている。

しかし、出土事例の分析から、和同開珎・萬年通寶・神功開寶が同時に使用され、隆平永寶発行後、ほどなく、ほぼ姿を消したと推定されることは、文献史料から知られる当時の貨幣政策が実効性を持っていたことを裏付けるものとして、もっと積極的に評価してよいと考える。

V おわりに

以上、京都府出土の和同開珎について概観した。要約すれば、

- ① 出土分布は平城京に隣接する山城南部と長岡京に集中するが、宮域ではほとんど出土しない。
- ② 遺構別では溝、特に条坊側溝からの出土例が多く、祭祀関係遺物を伴うことも多い。
- ③ 地鎮・胞衣埋納・水・墓など祭祀の対象となるものは様々で、特定することは難しい。
- ④ 井戸から出土するものについては意図的な埋納と認定することが難しい。
- ⑤ 和同開珎は萬年通寶・神功開寶と共伴することが多く、隆平永寶発行後、ほぼ姿を消した。となる。

出土例をみれば、錢貨の主たる用途は祭祀具であるかの様な印象を受けるが、遺跡から出土するのは錢貨の最終的な使用形態を示すものであることには注意を要すると思われる。流通の過程にある錢貨を考古学的な資料として捉えることは難しいが、平安京西市とその隣接地に皇朝十二錢の全種類、あるいは大多数の種類を出土する調査地が集中することは、錢貨が価値の交換手段として使われていたことを傍証するものであろう。

〔参考文献〕

- 松崎 俊郎 1992 「乙訓地域出土の皇朝錢」(『長岡京古文化論叢』Ⅱ)
- 栄原永遠男 1993 『日本古代錢貨流通史の研究』
- 京都府埋蔵文化財研究会 1995 「山背・丹波・丹後国古代遺跡データベース」
(『第3回京都府埋蔵文化財研究会発表資料集』)
- 小池 寛 1997 「京都府内における地鎮遺構出土の錢貨について」(『出土錢貨』第7号)
- 久世 康博 1999 「京都市域における埋納(祭祀)遺構の集成」
(『研究紀要』第5号(財)京都市埋蔵文化財研究所)
- 出土錢貨研究会 2000 『畿内・七道からみた古代錢貨』
- 森島 康雄 2005 「古代錢貨集成『畿内・七道からみた古代錢貨』の意義」(『出土錢貨』第22号)



图1 浦入遺跡群 O-1 地点出土和同開珎

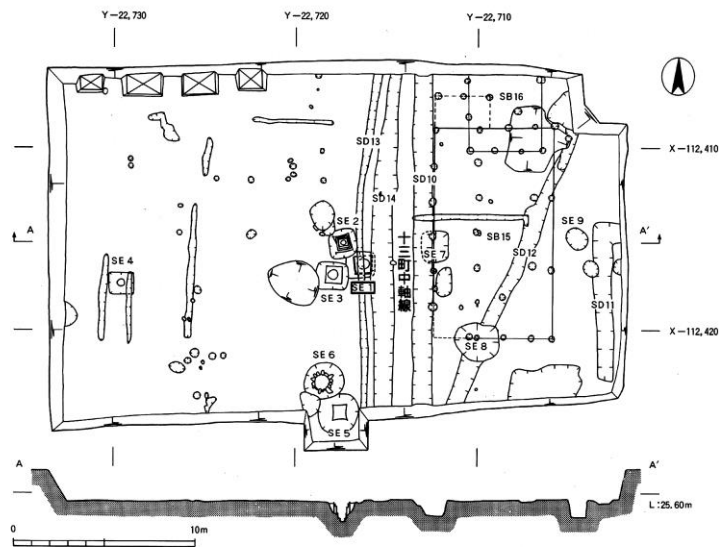


图2 平安京左京七条一坊十三町・東市外町遺構配置図

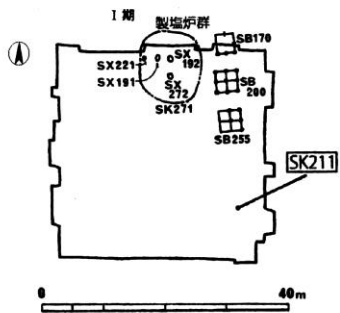


图3-1 平安京右京一条三坊十町 奈良時代遺構配置図



图3-2 平安京右京一条三坊十町出土和同開珎

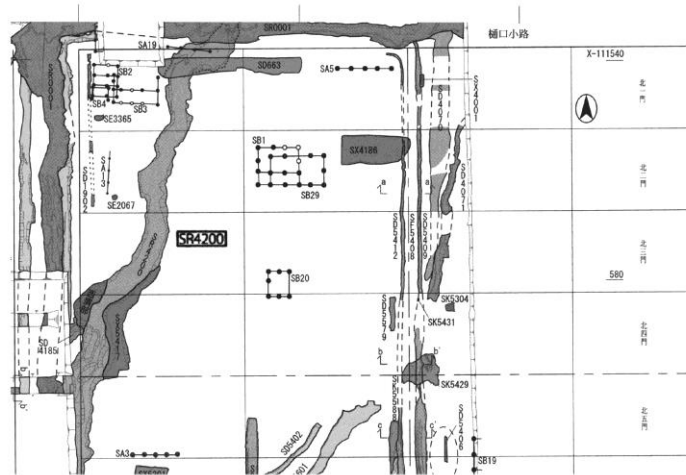


图 4-1 平安京右京六条三坊七町遺構配置圖

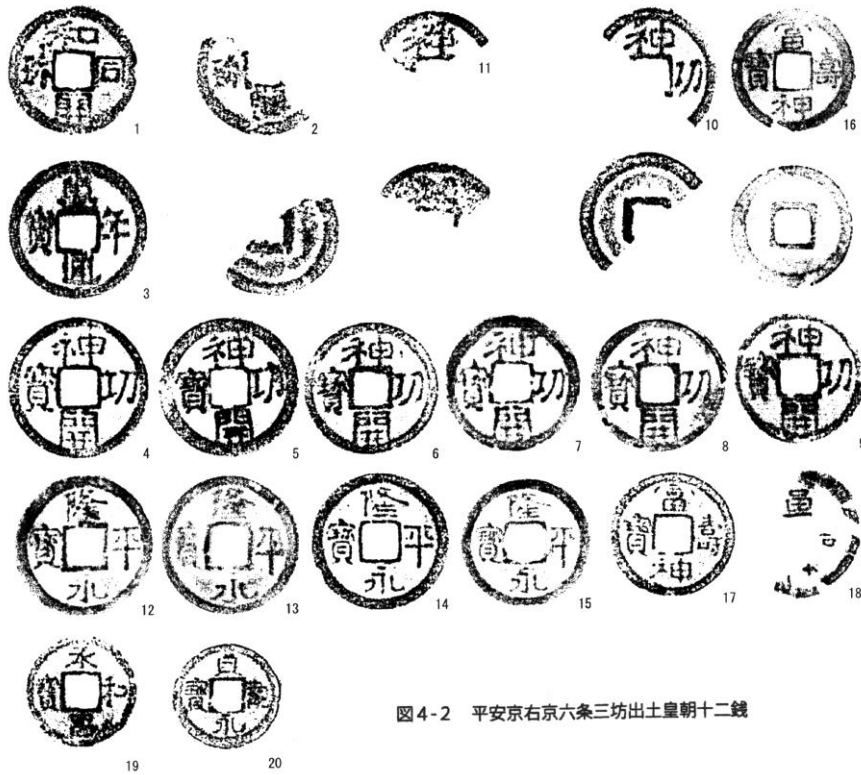


图 4-2 平安京右京六条三坊出土皇朝十二錢

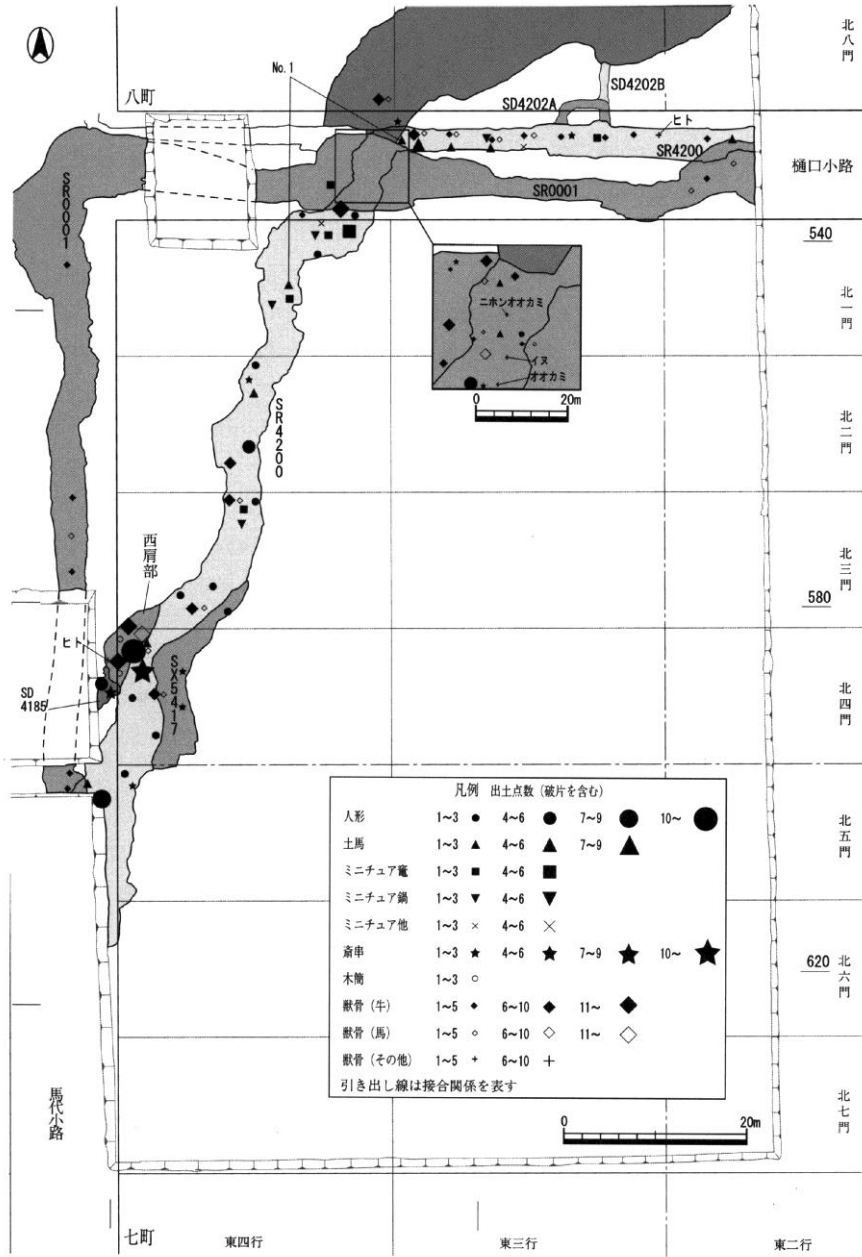


図4-3 平安京右京六条三坊祭祀遺物分布図

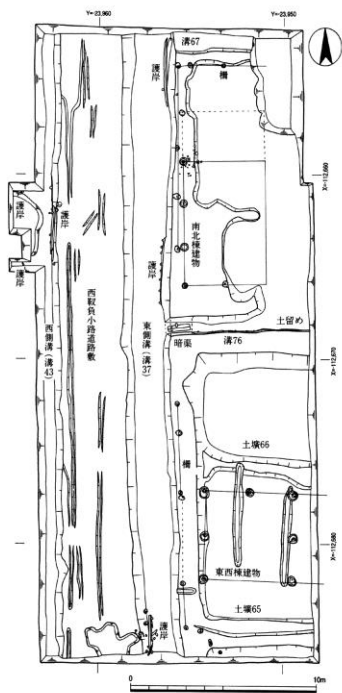
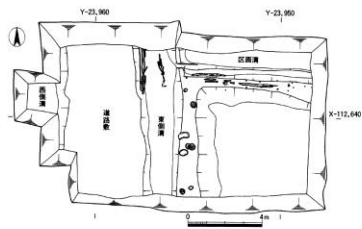


図5 平安京右京八条二坊二町遺構平面図

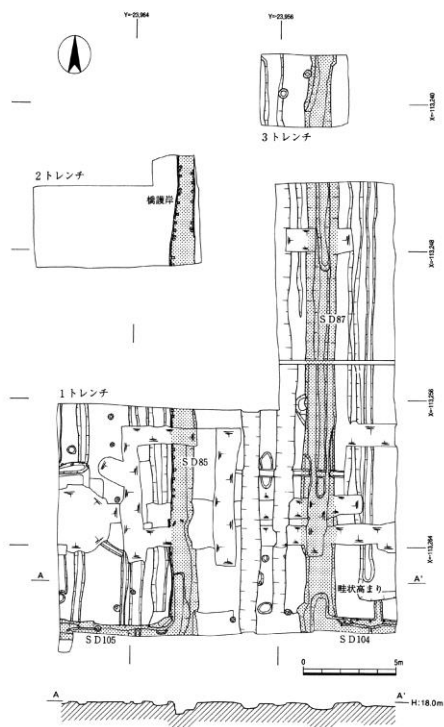


図6 平安京右京九条二坊二・七町遺構平面図

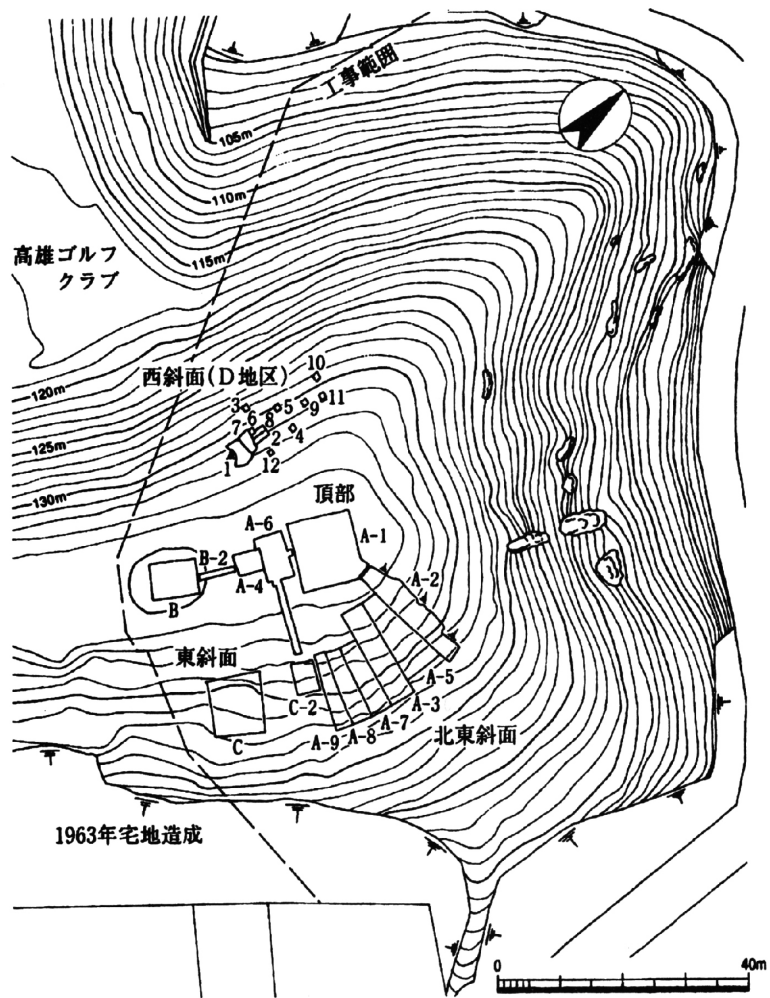


図7-1 梅ヶ畑祭祀遺跡平面図

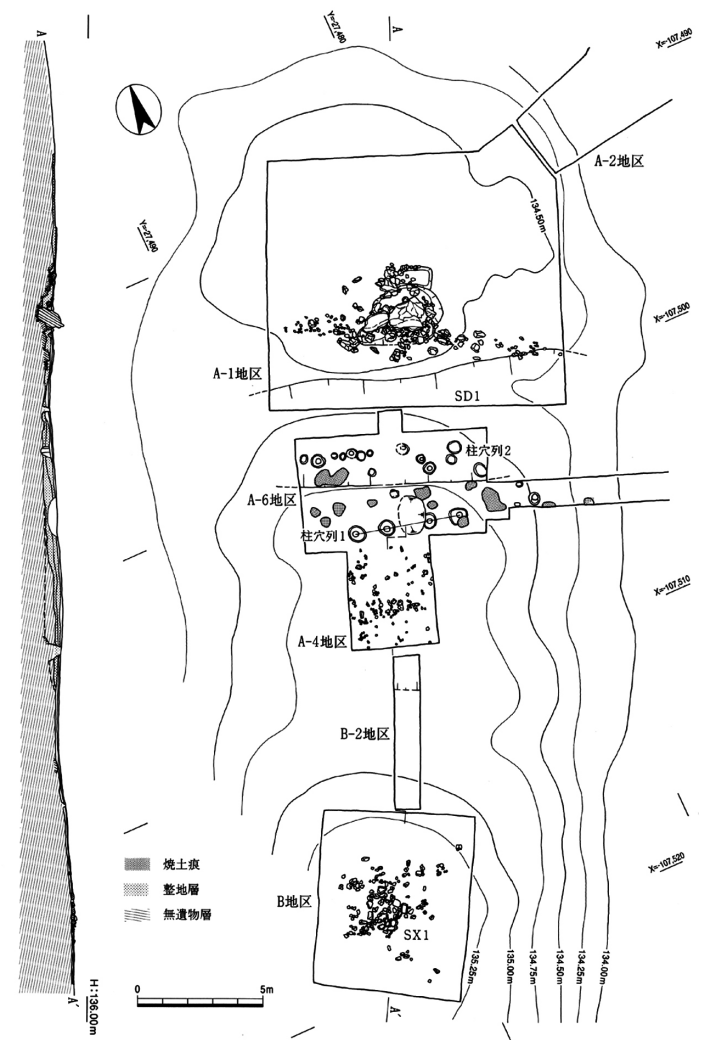


図7-2 梅ヶ畑祭祀遺跡
頂部実測図

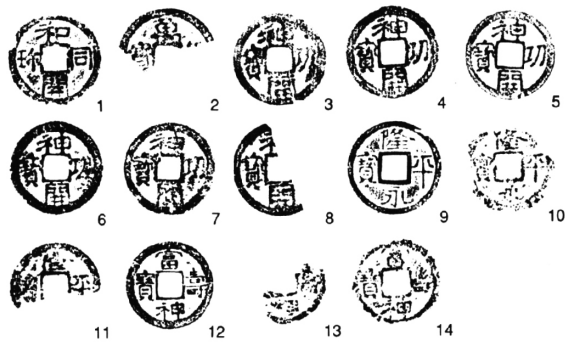


図7-3 梅ヶ畑祭祀出土皇朝十二銭

(北東斜面包含層：1・2・7・10～
14 頂部SX1：3～6 頂部整地層：8・9)



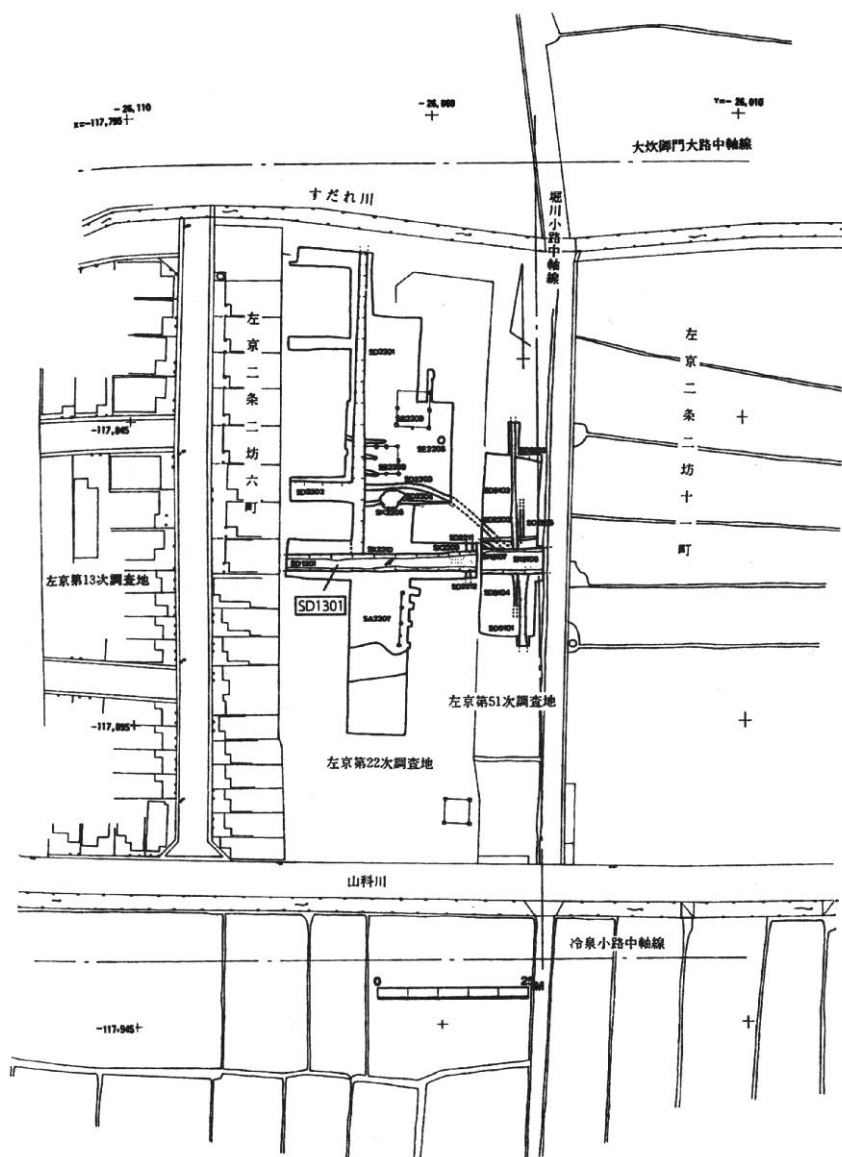
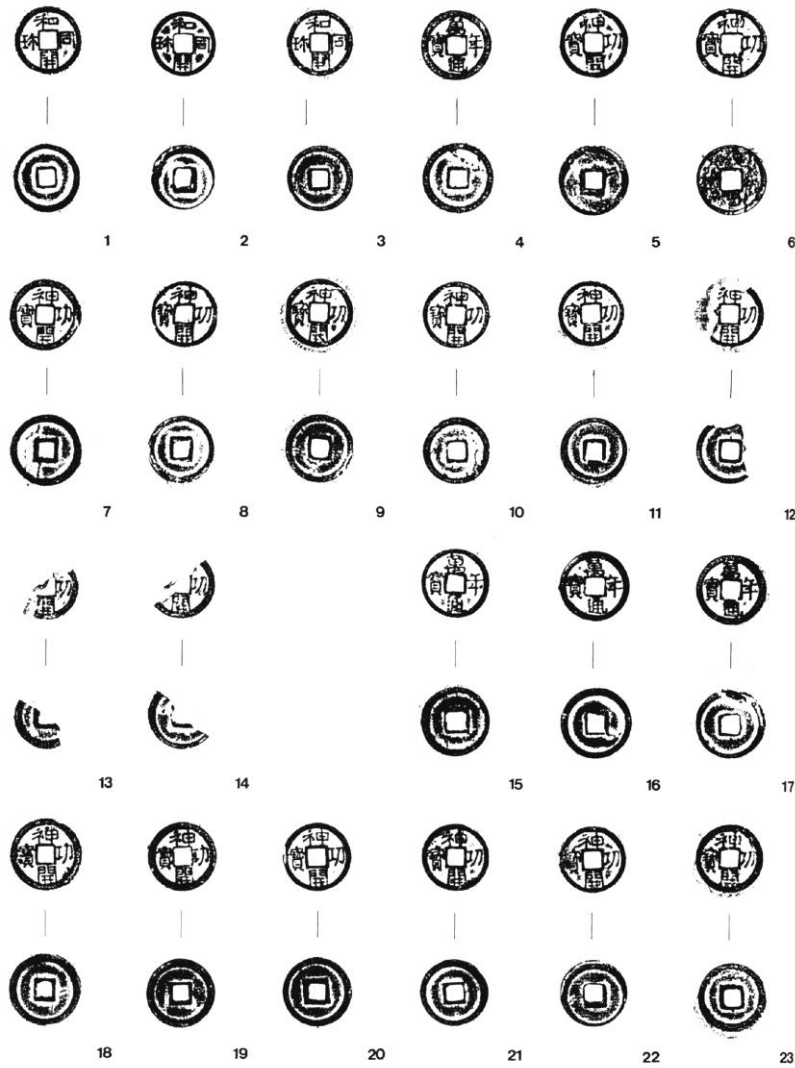


図8-1 長岡京左京51次調査周辺遺構平面図



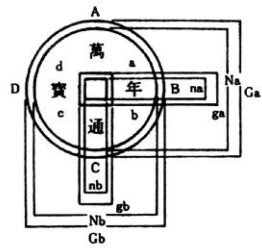
(1~14左京第51次調査・15~23左京第22次調査)

图8-2 長岡京左京 22-51 次調査出土皇朝十二銭

付表-9 左京第51次・第22次溝S D1301出土銭貨計測値一覽表

調査	No	貨幣名(種)	遺構No	地区名	層位	出土年月日	W (g)	G (mm)	N (mm)	g (mm)	n (mm)	T (mm)	t (mm)
左京第51次調査	1	和同開珠A	S D1301	45N-3	4	800710	2.76	24.89	21.25	7.75	7.00	1.65	0.62
	2	和同開珠D	S D1301	45N-3	5	800718	2.73	23.82	20.50	7.50	7.00	1.34	0.57
	3	和同開珠D	S D1301	47N-3	4	800716	2.44	24.39	20.50	7.50	7.00	1.23	0.57
	4	万年通寶F	S D1301	47N-1	4	800712	3.56	25.87	21.25	7.75	6.75	1.66	0.72
	5	神功開寶A	S D1301	46N-1	5	800718	4.05	25.87	21.75	8.50	7.00	1.55	0.84
	6	神功開寶A	S D1301	47N-2	4	800710	4.35	26.01	22.50	9.00	6.75	1.42	0.93
	7	神功開寶B	S D1301	46O-2	5	800712	3.99	26.48	21.00	7.75	6.50	1.55	0.92
	8	神功開寶E	S D1301	47N-2	4	800710	4.49	24.77	21.25	7.75	6.50	1.89	0.97
	9	神功開寶E	S D1301	46N-2	5	800709	2.44	24.94	21.25	8.00	6.75	1.23	0.48
	10	神功開寶E	S D1301	46N-3	5	800712	4.90	24.68	21.00	8.00	6.50	1.96	1.30
	11	神功開寶E	S D1301	46N-1	5	800718	3.78	24.89	21.00	7.75	6.75	1.71	1.20
	12	神功開寶E	S D1301	47N-1	5	800715	2.23	—	—	8.50	6.50	1.61	0.82
	13	神功開寶E	S D1301	47N-1	5	800718	0.84	—	—	—	—	1.03	—
	14	神功開寶E	S D1301	45N-2	5	800718	2.25	—	—	—	—	1.90	1.04

調査	No	貨幣名(種)	遺構No	地区名	層位	出土年月日	W (g)	G (mm)	N (mm)	g (mm)	n (mm)	T (mm)	t (mm)
左京第22次調査	15	万年通寶C	{ S D1301 S X 2209	44O-2	4	790116	3.70	25.37	22.00	8.25	6.00	1.50	0.55
	16	万年通寶F	S D1301	39O-2	※4	781227	3.97	25.90	21.25	8.25	6.75	1.64	0.51
	17	万年通寶F	S D1301	49	※2 暗青灰	790228	5.72	26.00	20.75	8.25	7.00	2.11	1.07
	18	神功開寶B	S D1301	41N-1	4	781227	5.33	26.95	21.75	8.00	6.50	1.74	0.74
	19	神功開寶B	S D1301	42N-1	4	781225	3.91	25.47	20.00	7.50	6.50	1.30	0.59
	20	神功開寶D	S D1301	43N-3	4	781224	3.69	25.70	21.75	8.75	7.00	1.41	0.53
	21	神功開寶E	S D1301	41O-2	4	—	2.53	24.82	21.00	8.00	6.50	1.30	0.47
	22	神功開寶E	{ S D1301 S X 2209	44O-3	3	790116	3.41	24.59	21.00	8.25	6.50	1.30	0.68
	23	神功開寶F	S D1301	49	暗青灰	790227	4.52	25.23	20.50	8.25	6.75	1.85	0.83



※1 奈良国立文化財研究所「平城宮発掘調査報告」Ⅶ
別表 8 銭貨計測値分布図(P189)より

$$G = \frac{Ga + Gb}{2} \quad r = \frac{ga + gb}{2}$$

$$N = \frac{Na + Nb}{2} \quad n = \frac{na + nb}{2}$$

$$T = \frac{A + B + C + D}{4} \quad t = \frac{a + b + c + d}{4} \quad (\text{単位=mm})$$

※2 下水道立合調査出土。暗青灰は下層を示す

図8-3 長岡京左京 22・51 次調査出土皇朝十二銭計測表

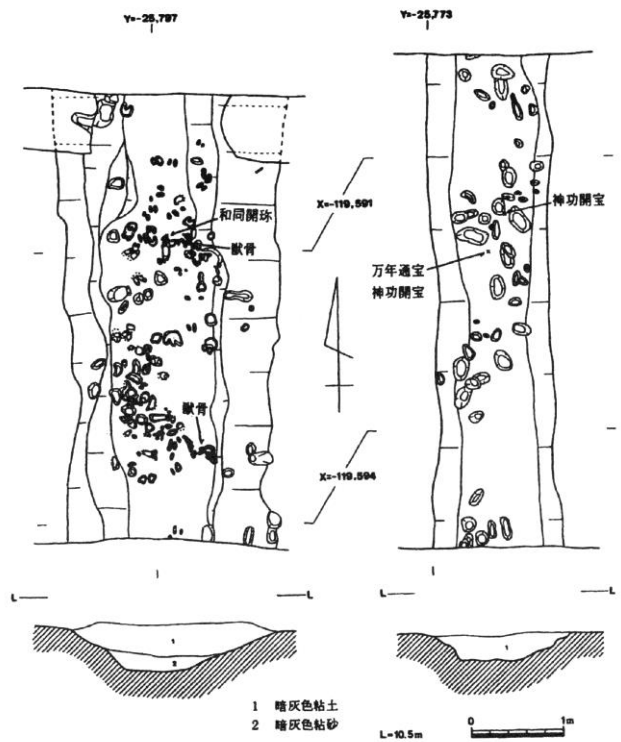


図9 長岡京左京 87次調査溝 SD7809・8710 実測図

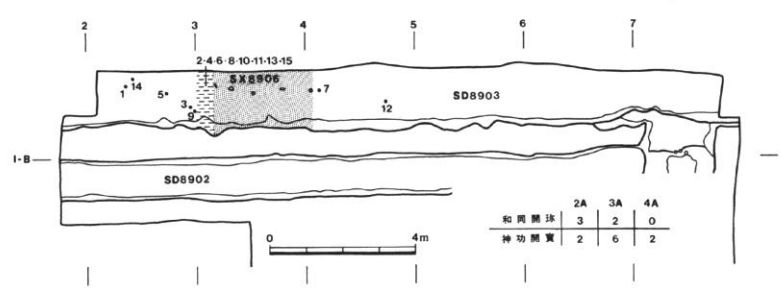


図10-1 長岡京左京 89次調査溝 SD8903 銭貨出土分布図

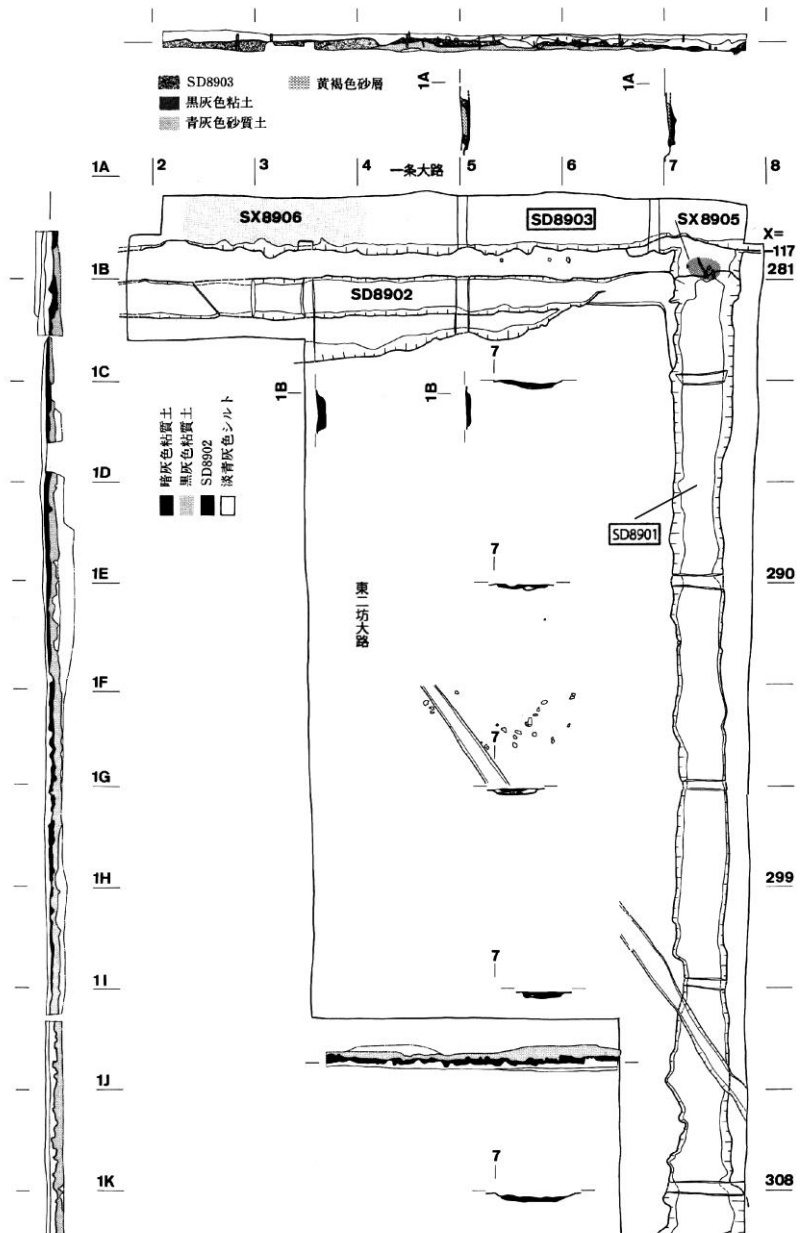


図 10-2 長岡京左京 89 次調査遺構実測図

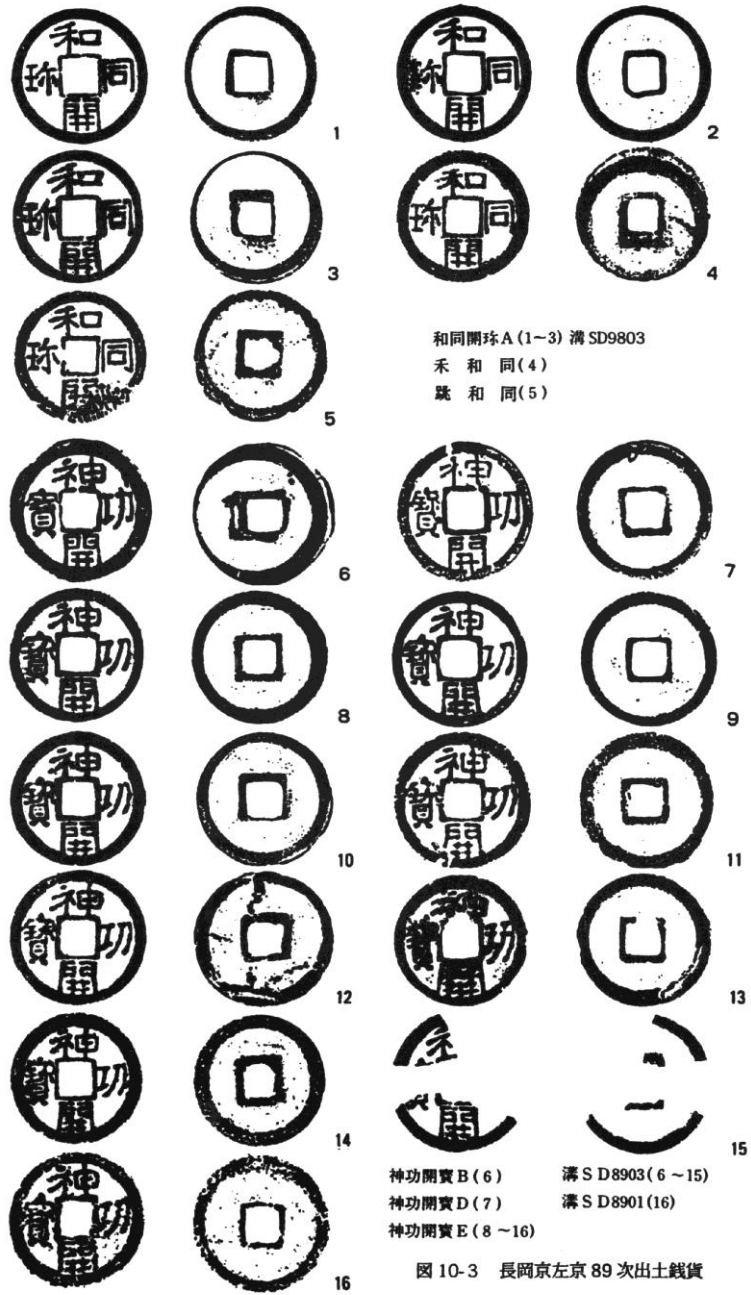


圖 10-3 長岡京左京 89 次出土錢貨

No.	錢貨名(種)	遺構	地区	層位	W (mm)	G (mm)	N (mm)	g (mm)	n (mm)	T (mm)
1	和同開珎A	S D8903	I-2A	下層	2.69	24.8	21.2	8.0	7.0	1.4
2	◇	◇	I-3A	◇	2.95	24.65	21.3	8.0	7.0	1.5
3	◇	◇	I-2A	◇	2.96	24.1	21.0	8.35	6.9	1.33
4	禾和同	◇	I-3A	◇	2.82	24.5	20.0	7.5	6.4	1.08
5	跳和同	◇	I-3A	◇	2.92	24.25	20.1	7.2	6.2	1.27
6	神功開寶B	◇	I-3A	◇	4.40	24.6	20.65	8.15	6.8	1.5
7	◇ D	◇	I-4A	◇	4.24	25.2	21.15	8.8	7.3	1.68
8	◇ E	◇	I-3A	◇	3.53	24.2	21.1	8.05	6.8	1.48
9	◇	◇	I-2A	◇	3.97	24.8	21.35	8.20	7.25	1.55
10	◇	◇	I-3A	◇	3.40	24.5	20.7	8.15	6.45	1.20
11	◇	◇	I-3A	◇	3.74	24.95	21.0	8.15	6.75	1.53
12	◇	◇	I-4A	◇	3.52	24.75	21.3	8.15	6.75	1.40
13	◇	◇	I-3A	◇	3.27	24.2	20.4	8.35	6.65	1.43
14	◇	◇	I-2A	◇	2.81	23.9	19.6	7.7	6.75	1.1
15	◇	◇	I-3A	◇	—	—	—	—	—	—
16	◇	S D8901	II-7B	上層	3.35	24.7	20.9	8.3	6.75	1.7

图 10-4 長岡京左京 89 次出土錢貨計測表

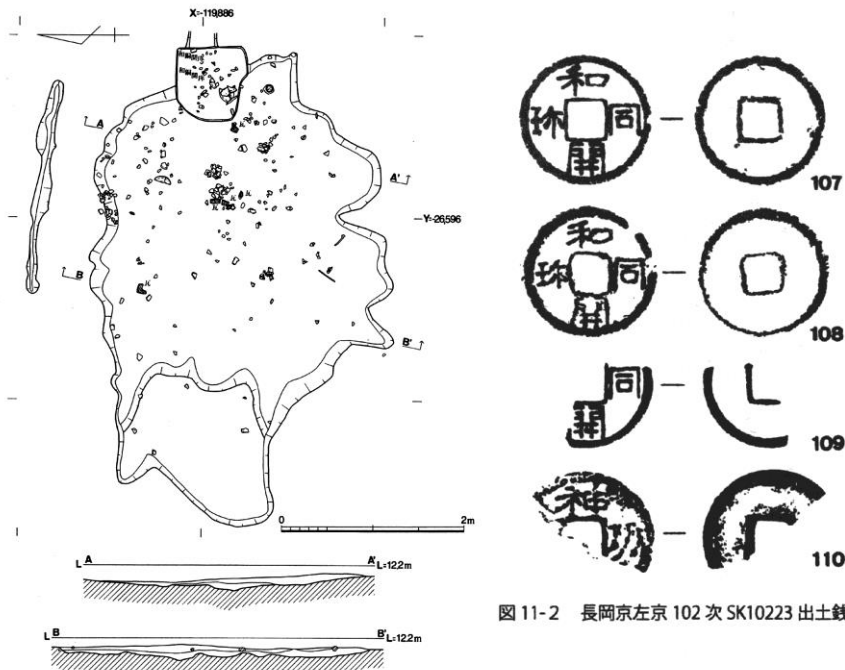


图 11-1 長岡京左京 102 次 SK10223 実測図

图 11-2 長岡京左京 102 次 SK10223 出土錢貨

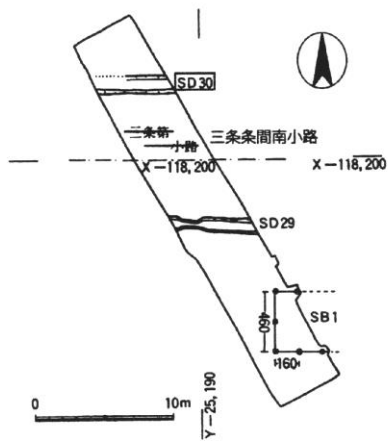


図 12 長岡京左京 104 次調査平面図

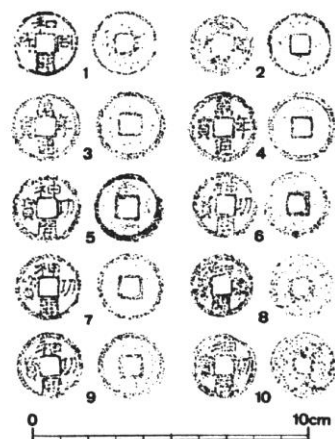


図 13-2 長岡京左京 118 次調査出土銭貨

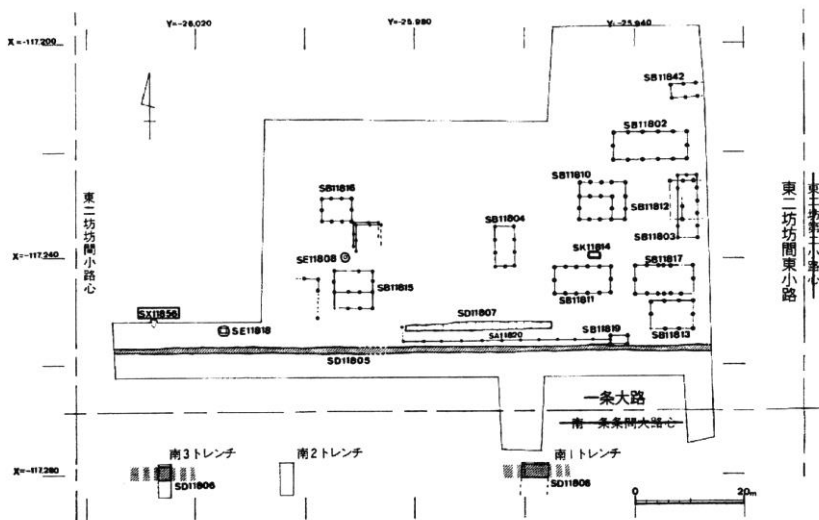


図 13-1 長岡京左京 118 次調査平面図

番号	銭貨名(種)	遺構	地区	W(g)	G(mm)	N(mm)	g(mm)	n(mm)	T(mm)	t(mm)
1	和同開珎A or B	SX11856	8R	(1.8)	24.02	20.95	7.75	6.32	1.37	0.52
2	和同開珎	SB11813		(2.0)	24.17	21.05	7.87	6.52	1.37	0.52
3	萬年通寶F力	SX11856	8R	3.6	25.90	20.97	8.07	6.45	1.55	0.86
4	萬年通寶F	—	8R・S	3.5	25.57	21.10	8.02	6.15	1.64	0.80
5	神功開寶B	SX11856	8R	3.8	25.67	20.40	8.02	6.35	1.32	0.95
6	神功開寶E	SX11856	8R	(1.7)	24.30	20.00	7.90	6.35	1.16	0.49
7	神功開寶E?	SX11856	8R	2.5	24.57	20.60	8.02	6.42	1.37	0.64
8	神功開寶F力	SX11856	8R	2.4	23.87	19.52	7.80	6.37	1.26	0.90
9	神功開寶	SD11805	19T	4.1	24.72	20.95	8.25	6.60	1.86	1.01
10	神功開寶	—	8R・S	2.6	24.40	19.77	8.05	6.35	1.34	0.86

(注) 銭貨の各部計測は、奈良国立文化財研究所『平城宮発掘調査報告』VIに準じた。

図 13-3 長岡京左京 118 次調査出土銭貨計測表

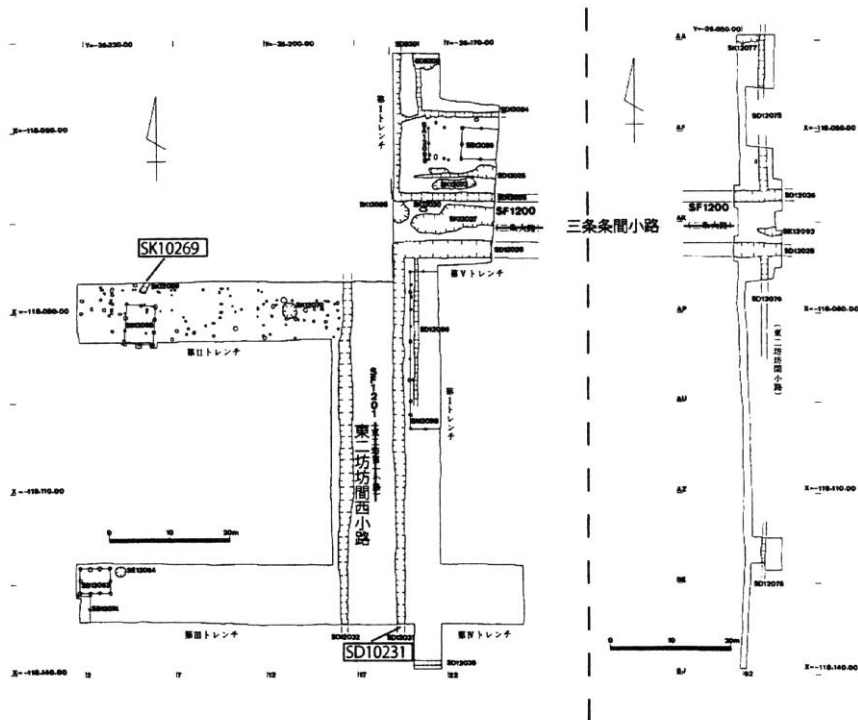


図 14 長岡京左京 120 次調査平面図

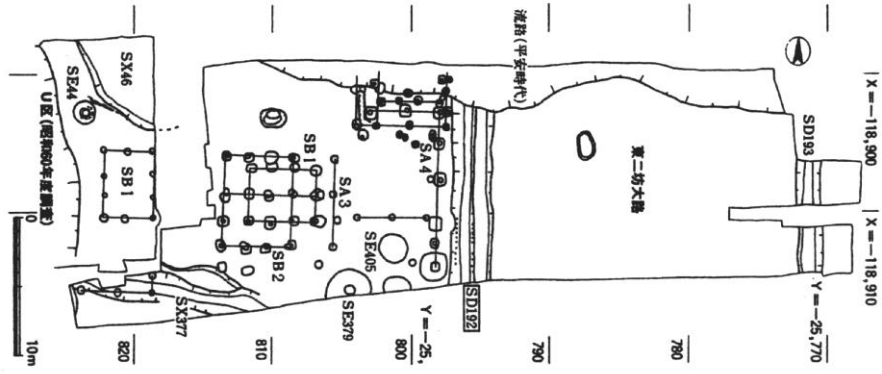


图 15 長岡京左京 164 次調査平面図

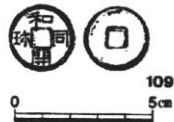


图 16 長岡京左京 167 次調査出土銭貨

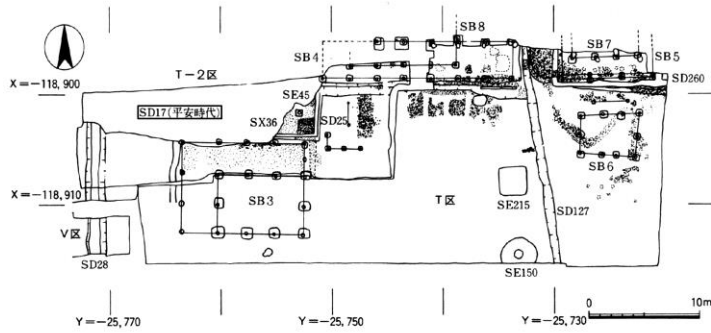


图 17 長岡京左京 174 次調査平面図

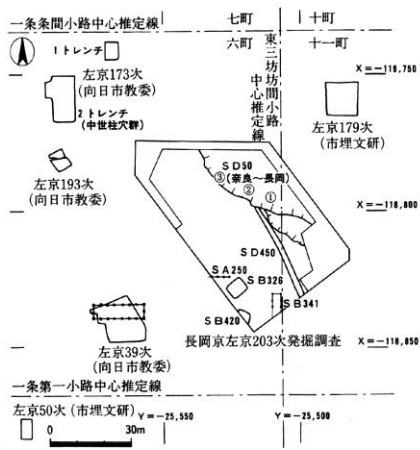


図 18-1 長岡京左京 203 次調査区位置図
(○No. は S D 50 遺物出土地点)

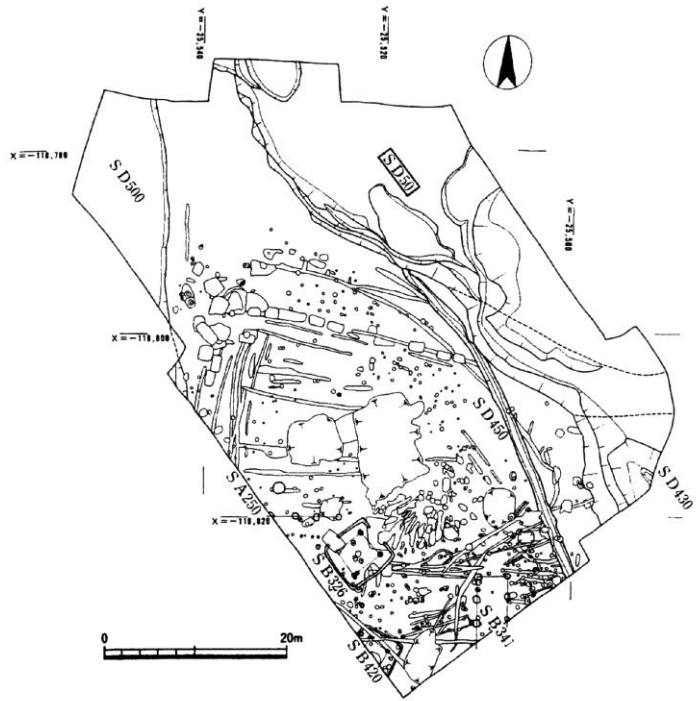


図 18-2 長岡京左京 203 次調査平面図

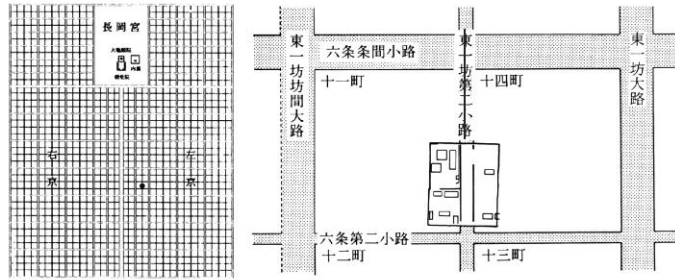


图 19-1 長岡京左京 204 次調査地位置図

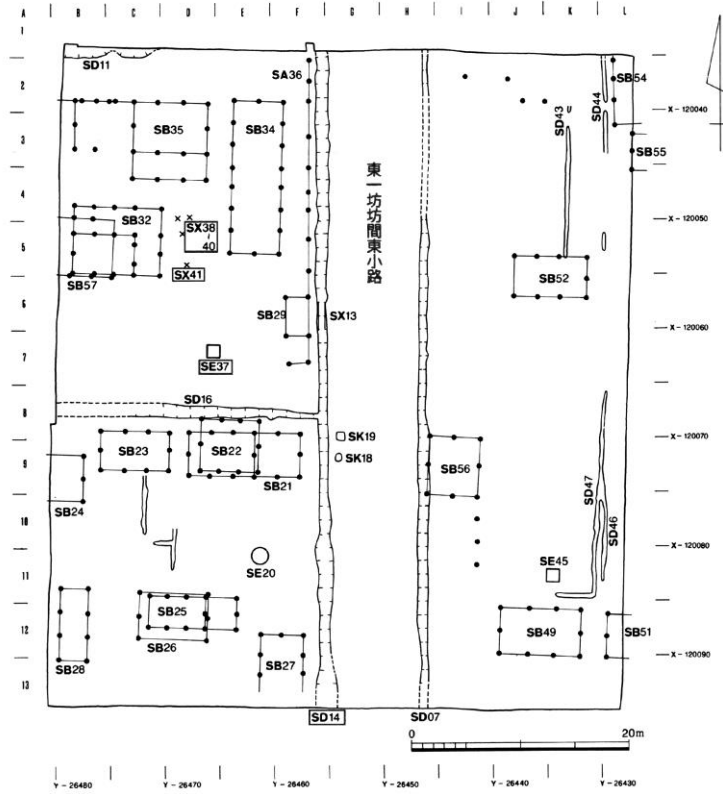


图 19-2 長岡京左京 204 次調査平面図

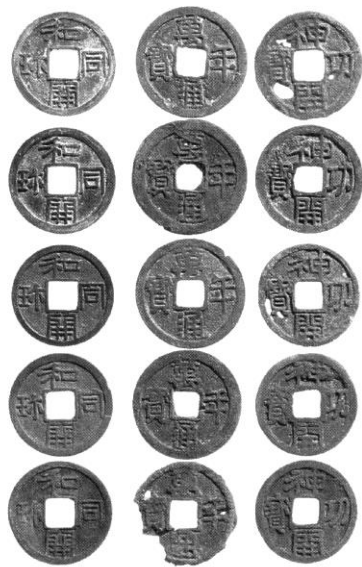


图 19-3 長岡京左京 204 次調査出土銭貨

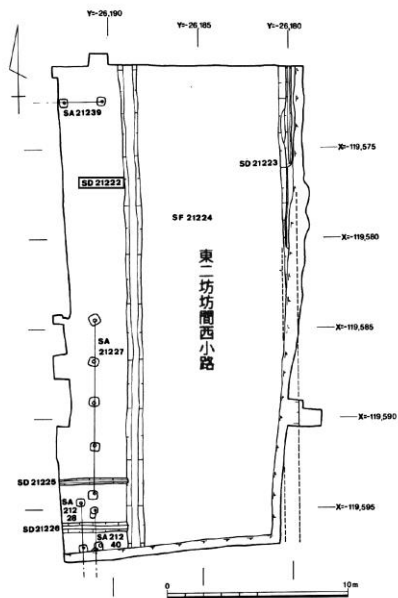


图 20 長岡京左京 212 次調査平面図

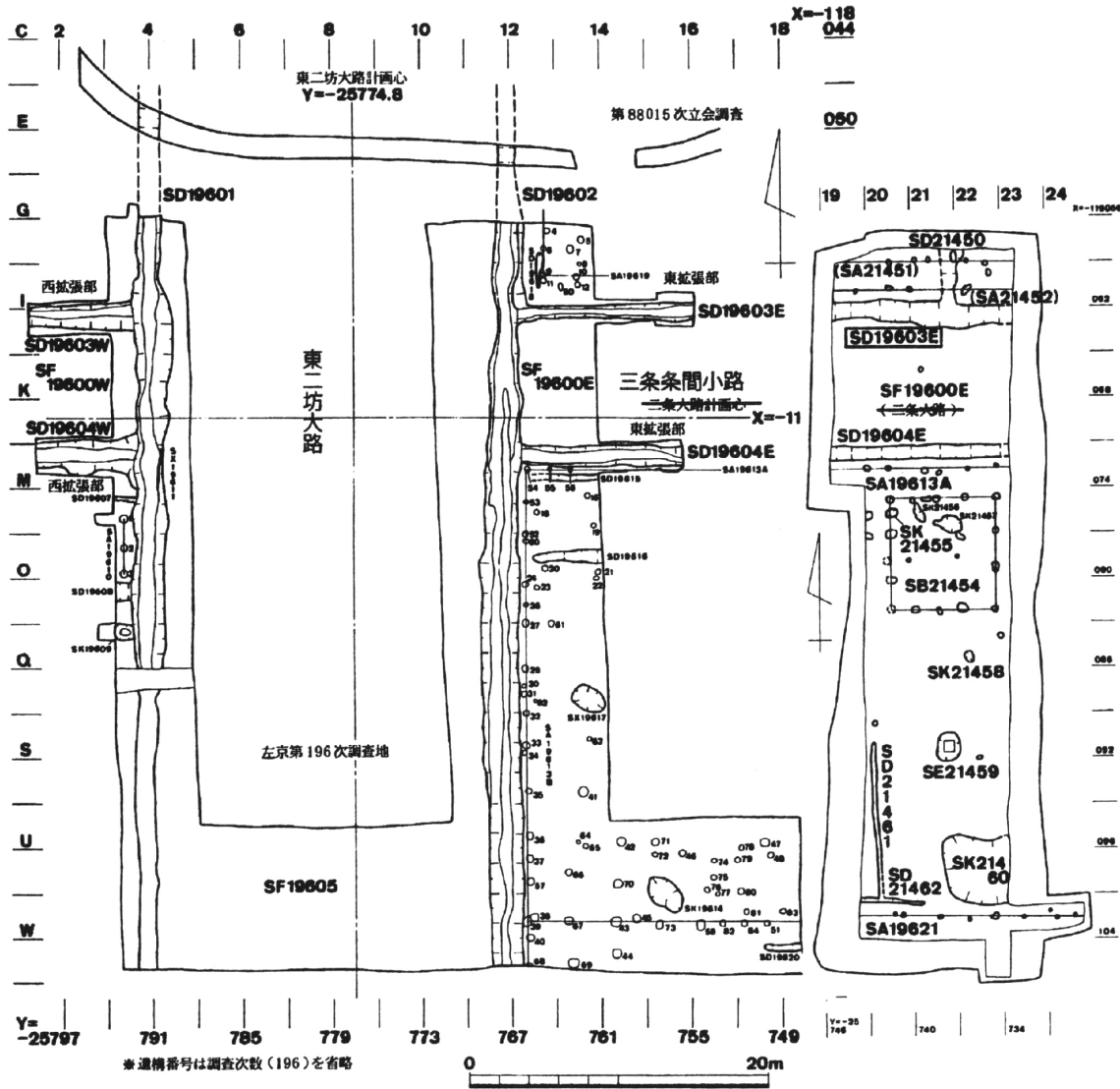


図 21-1 長岡京左京 196・214 次調査平面図

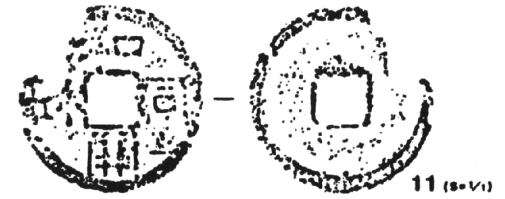


図 21-2 長岡京左京 196・214 次調査出土銭貨

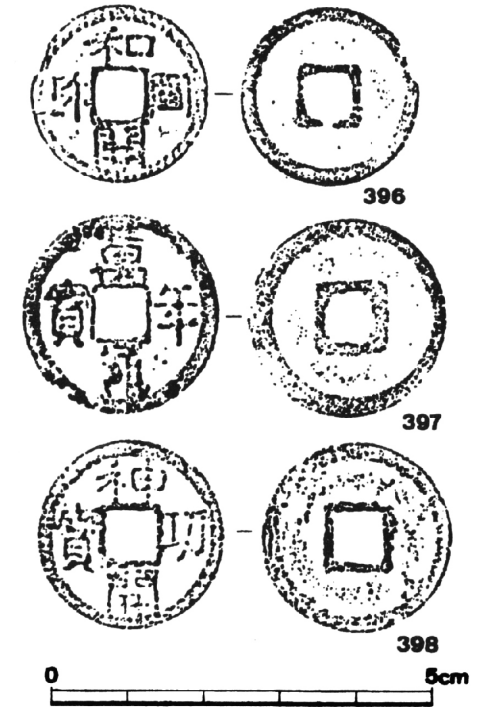


図 22-1 長岡京左京 218 次調査出土銭貨

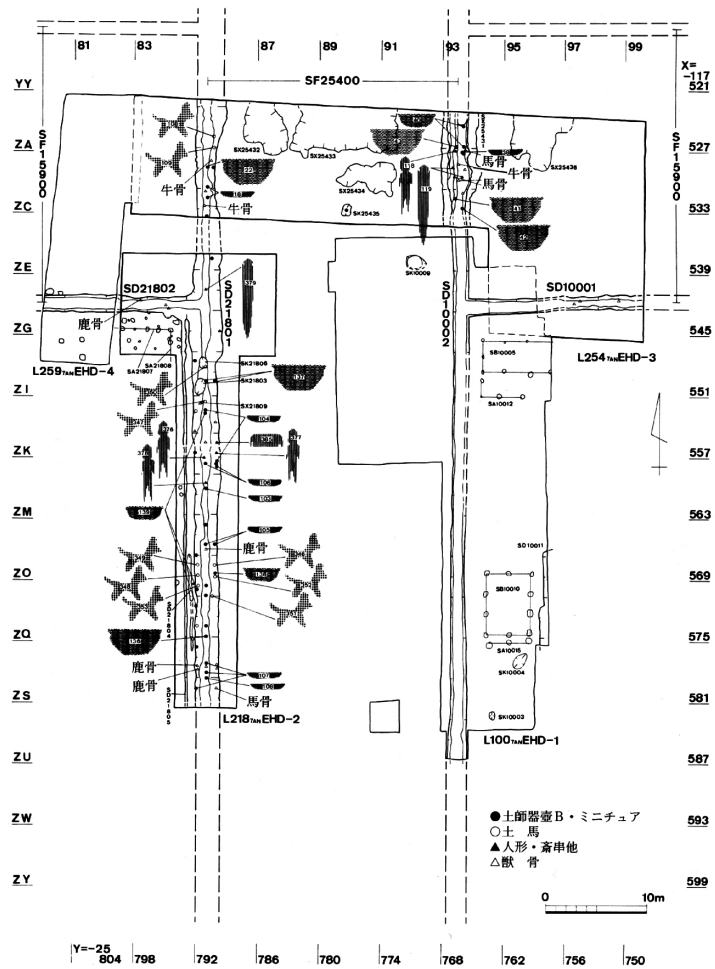


図 22-2 長岡京左京 218 次調査祭祀関連資料出土地点図

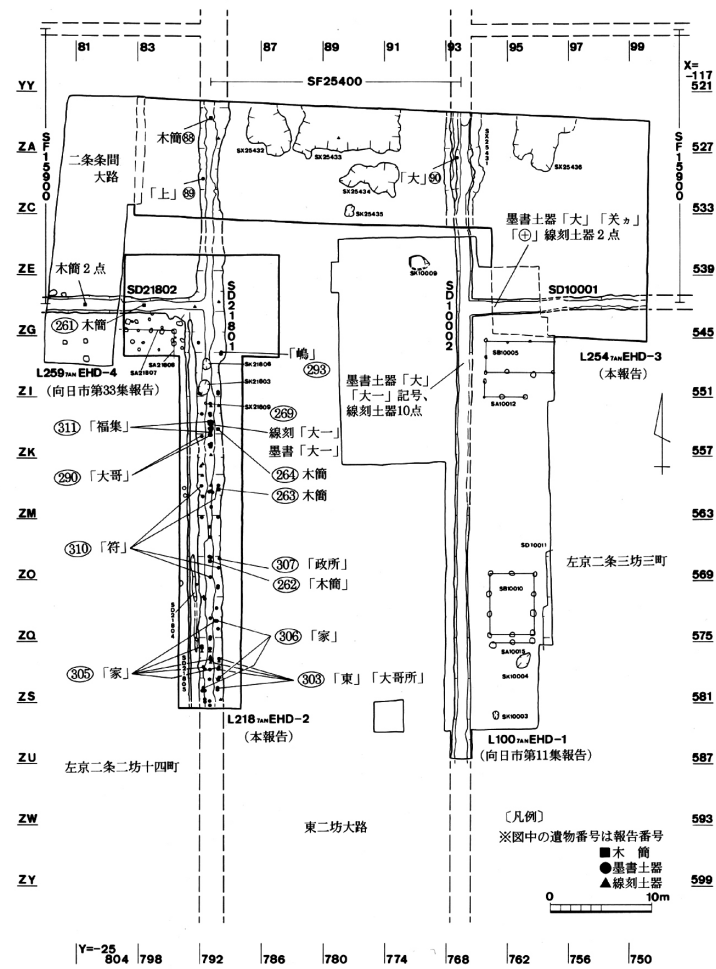


図 22-3 長岡京左京 218 次調査文字関連資料出土地点図

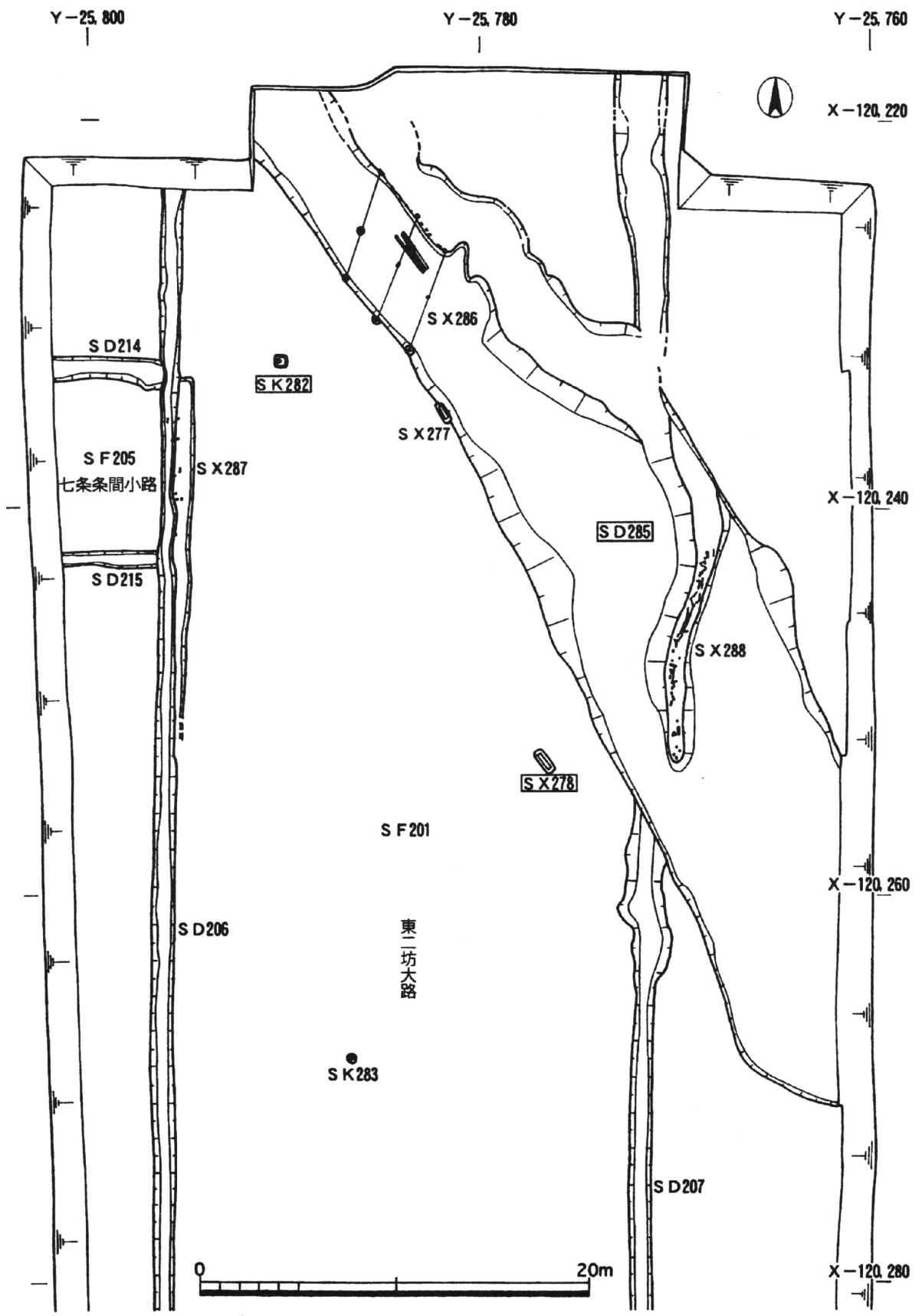


图 23-1 長岡京左京 251 次調査平面図

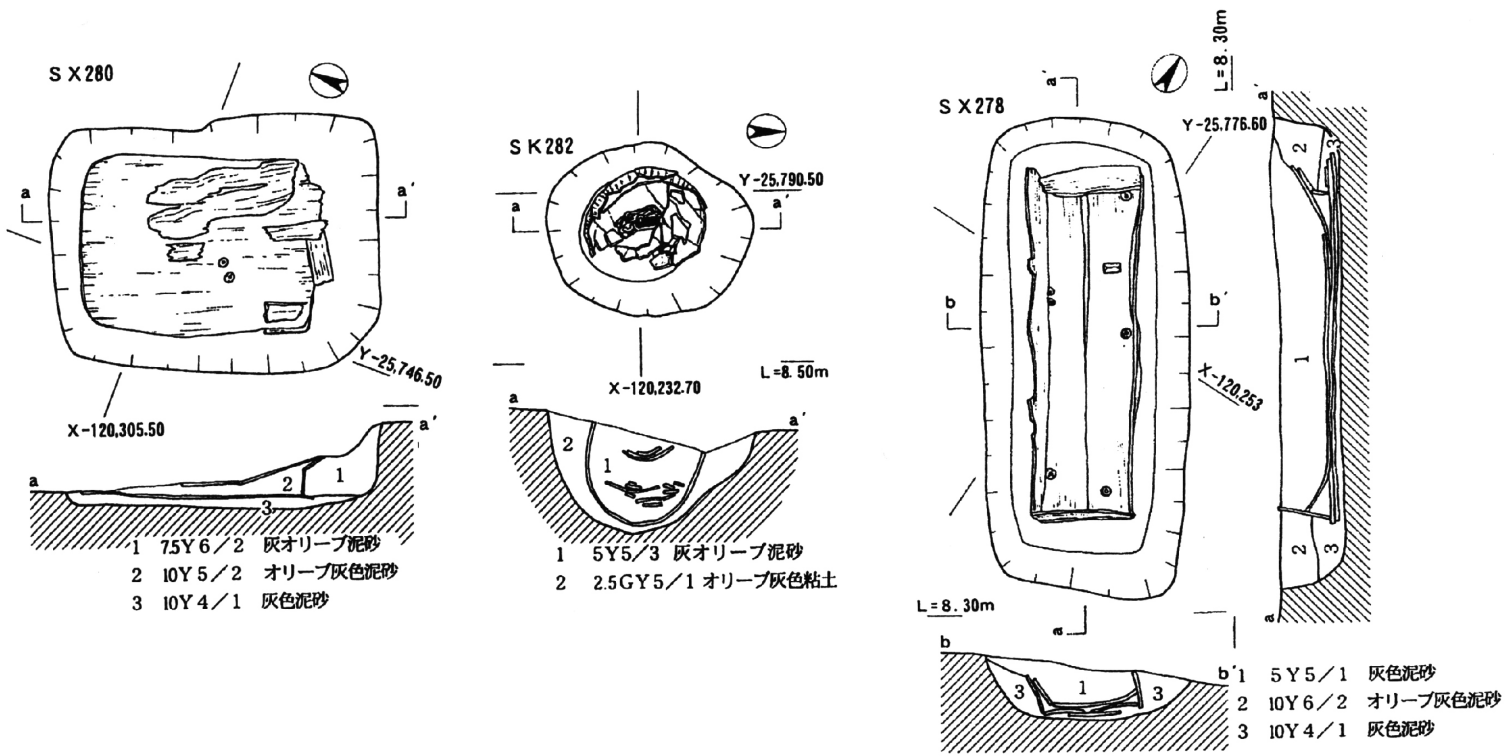


図 23-2 長岡京左京 251次調査 SK282・SX278・SX280 実測図

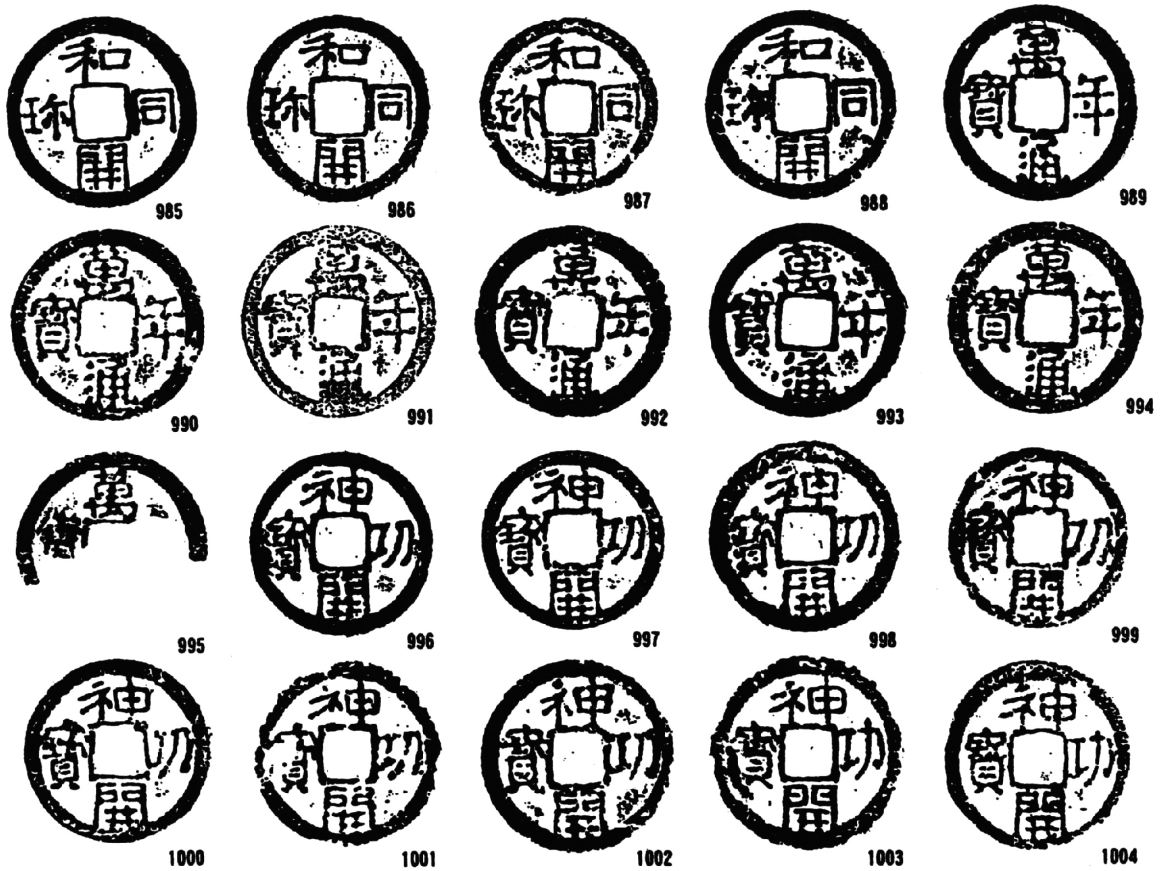


図 23-3 長岡京左京 251次調査出土銭貨 (1)

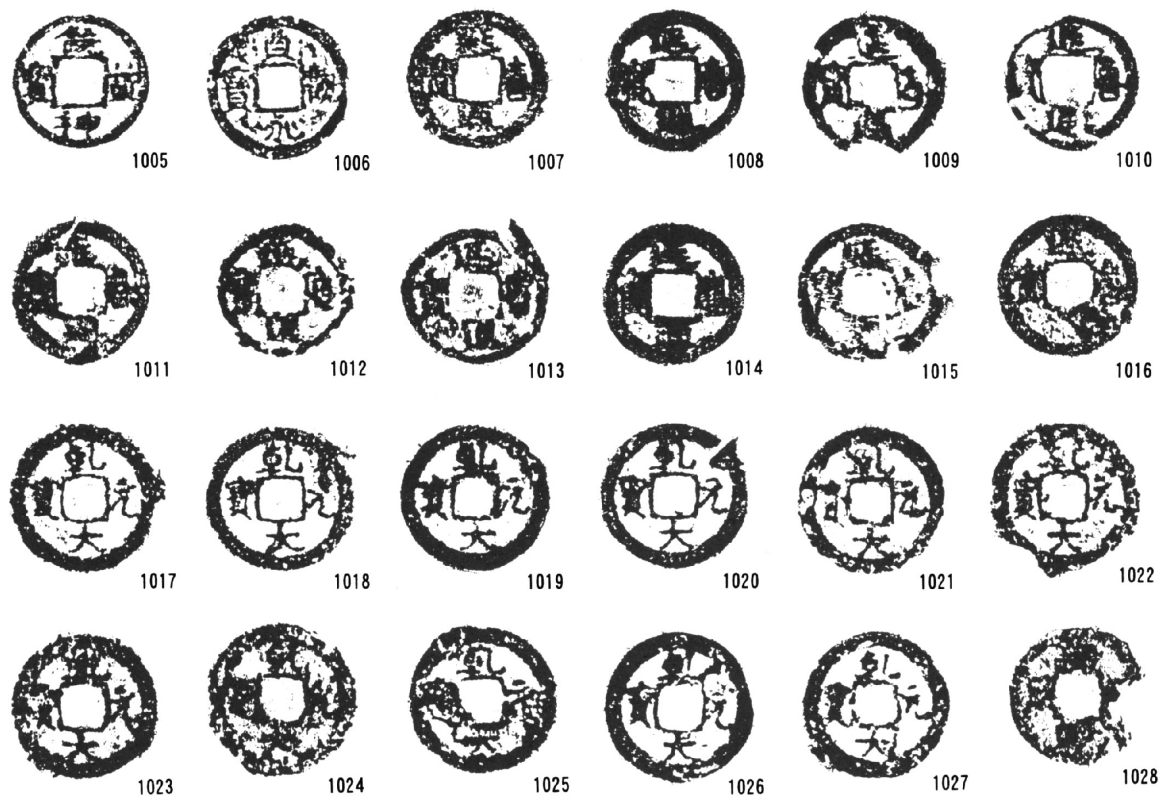


图 23-4 長岡京左京 251 次調査出土銭貨 (2)

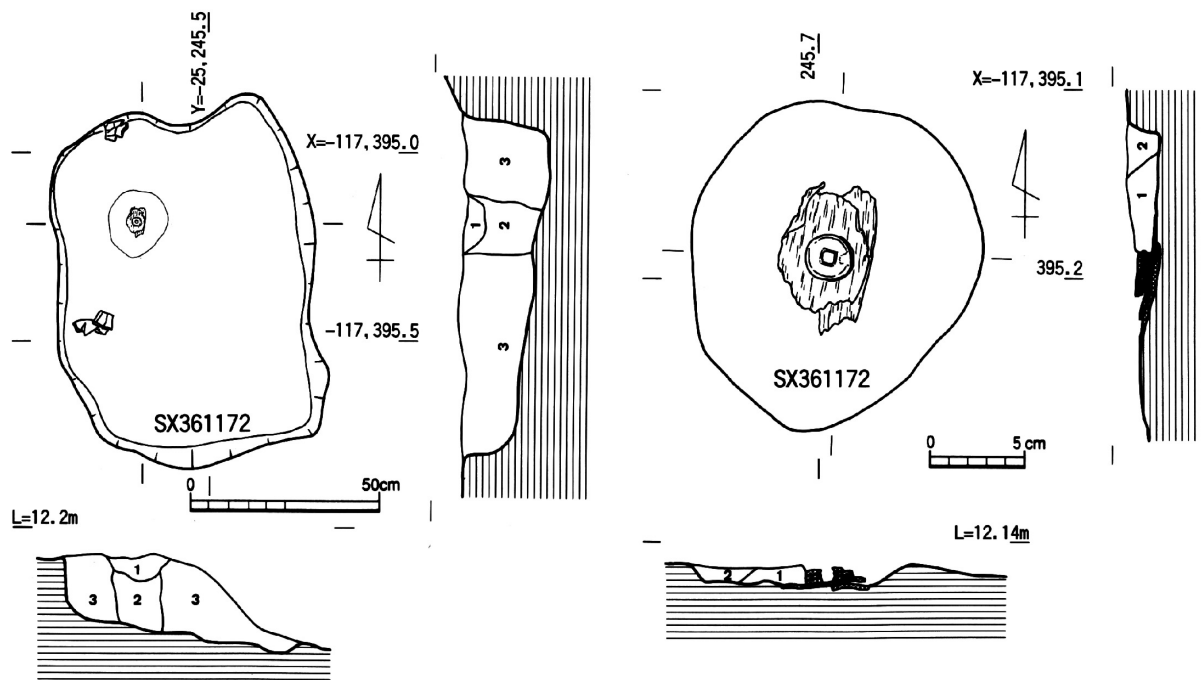


图 24-1 長岡京左京 361 次調査 SX361172 実測図

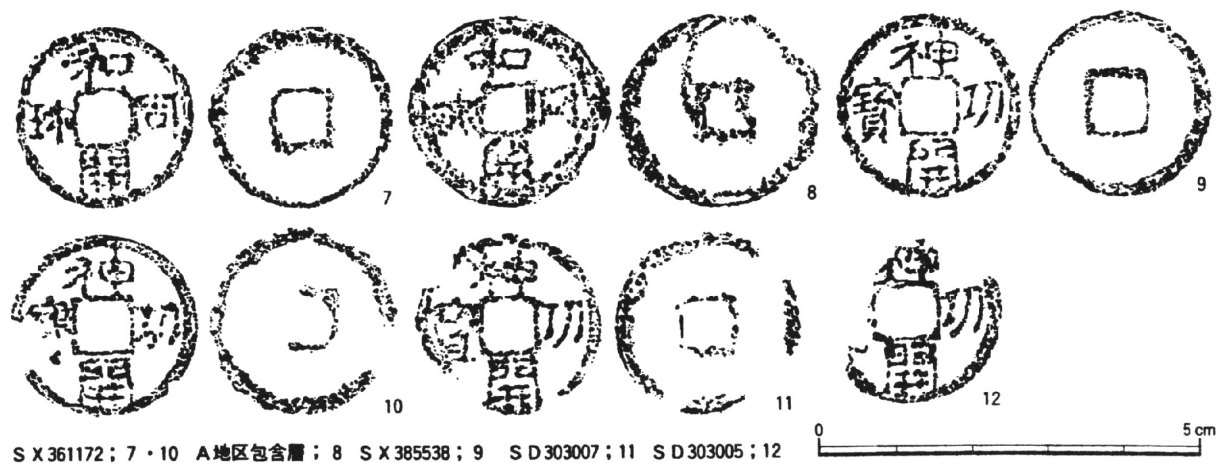


図 24-3 長岡京左京 361・381 次調査他出土銭貨

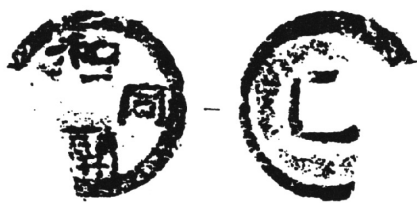
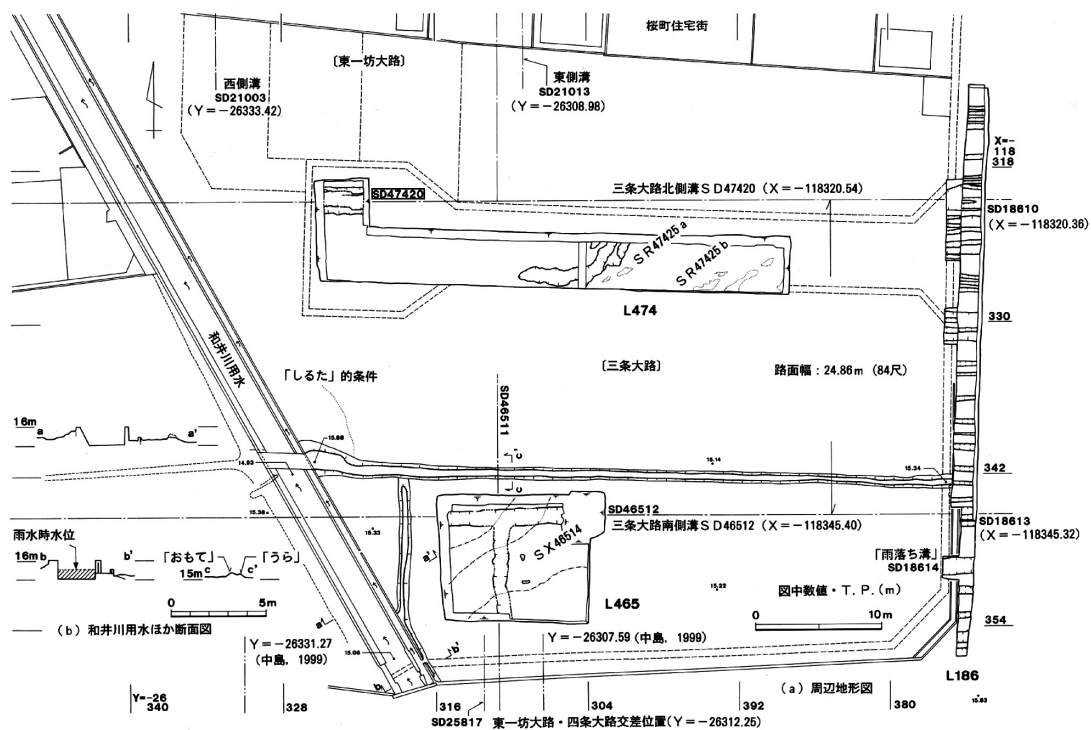


図 25-2 長岡京左京 474 次調査出土銭貨

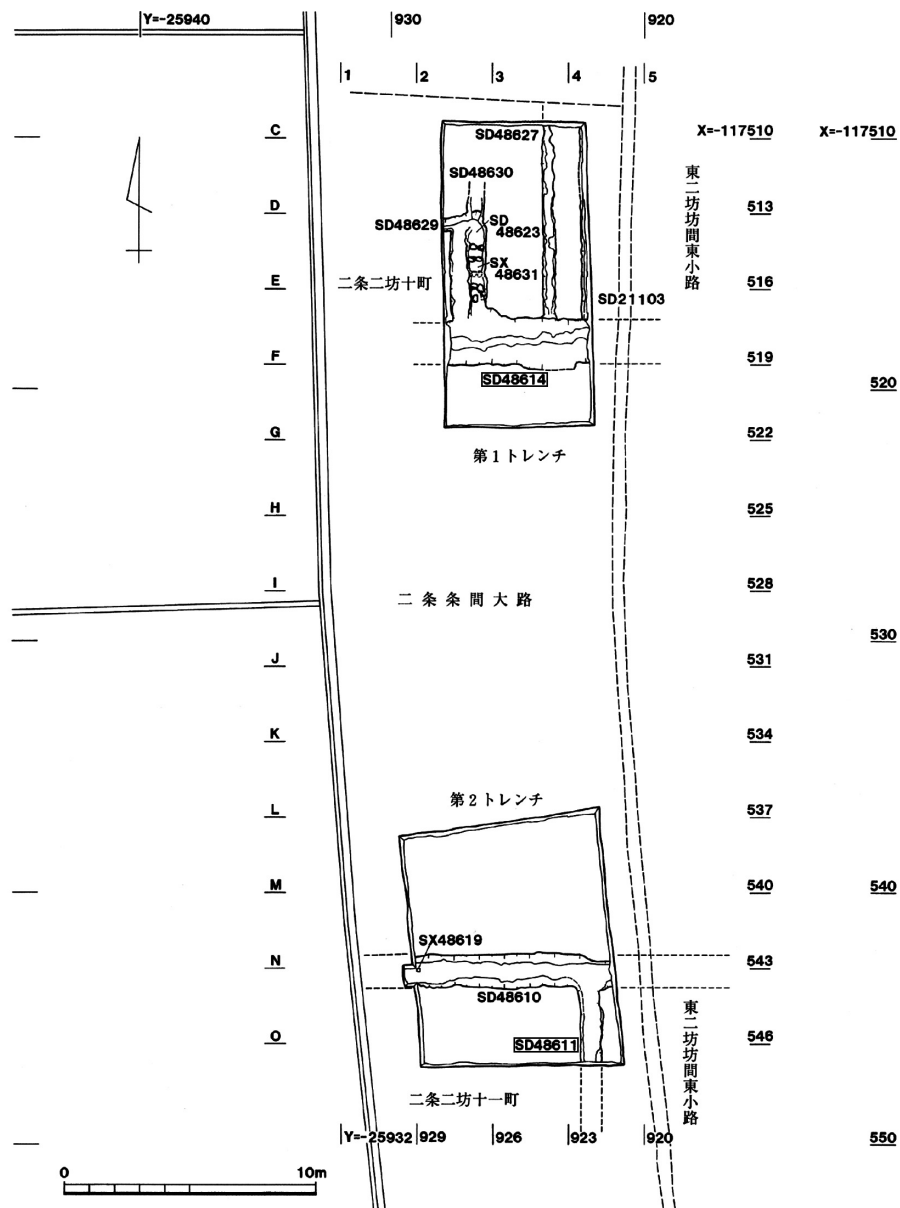


図 26-1 長岡京左京 486 次調査平面図

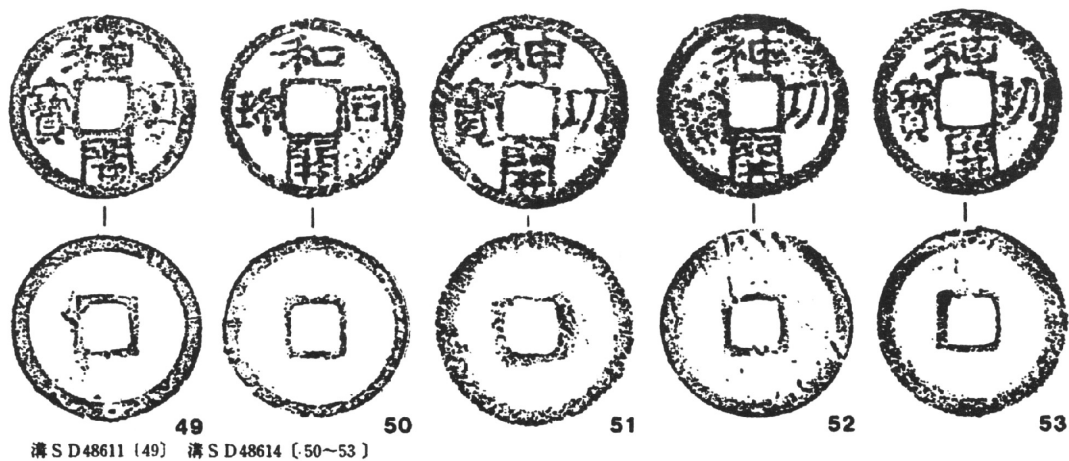


図 26-2 長岡京左京 486 次調査出土銭貨

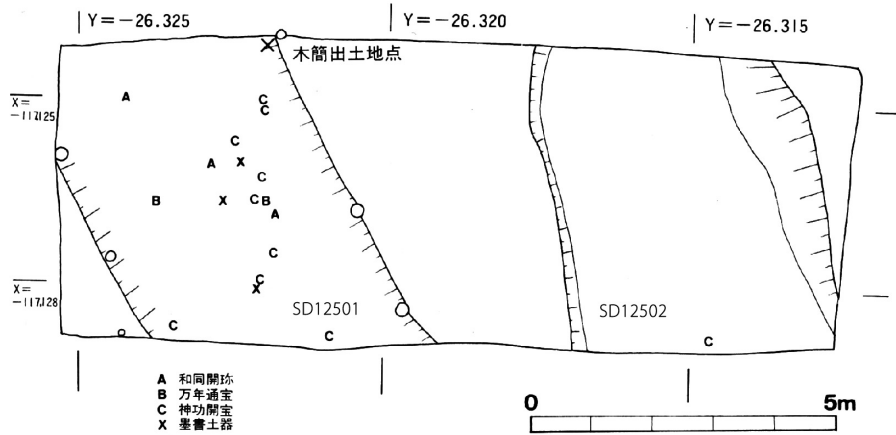


图 27-1 長岡京左京(宮 125 次)調查平面図

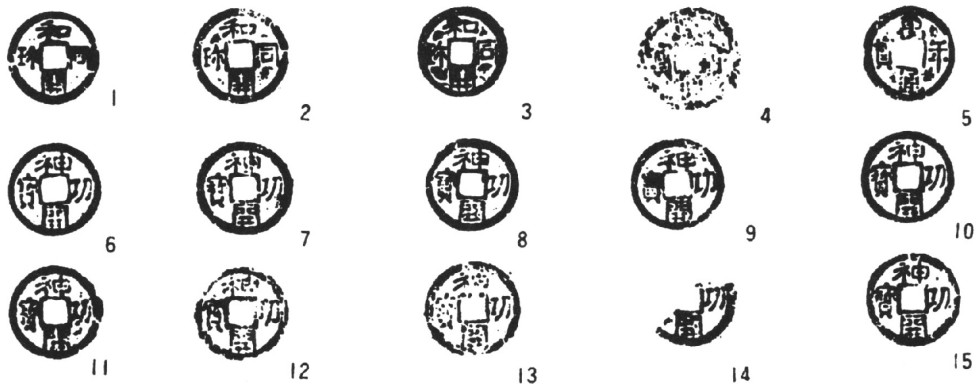


图 27-2 長岡京左京(宮 125 次)調查出土錢貨

No.	貨幣名(種)	遺構	地区	層位	W (g)	G (mm)	N (mm)	g (mm)	n (mm)	T (mm)	t (mm)
1	和同開珎	S D 12501	B-W	褐色粗砂層	1.20	25.00	21.00	8.50	6.50	1.38	0.48
2	和同開珎	"	C-E	"	2.70	25.00	22.00	8.50	7.00	1.37	0.40
3	和同開珎	"	D-E	"	3.25	23.50	20.50	7.75	6.50	1.46	0.72
4	萬年通寶	"	C-W	"	3.45	27.50	22.00	9.25	6.50	1.82	0.97
5	萬年通寶	"	D-E	"	5.95	25.00	21.00	—	7.00	2.22	1.06
6	神功開寶	"	B-E	"	4.80	25.00	21.00	9.00	7.25	2.02	1.08
7	神功開寶	"	B-E	"	4.30	25.50	22.00	9.00	7.00	1.61	0.70
8	神功開寶	"	C-E	"	4.80	25.00	20.50	9.00	7.00	1.61	0.72
9	神功開寶	"	C-E	"	3.10	25.00	21.00	9.00	6.50	1.36	0.55
10	神功開寶	"	D-E	"	3.95	25.00	20.75	8.50	6.75	1.58	0.77
11	神功開寶	"	E-E	"	3.55	25.00	20.50	8.50	6.75	1.57	0.90
12	神功開寶	"	E-E	"	3.10	24.50	21.00	9.00	6.50	1.38	0.60
13	神功開寶	"	F-E	"	2.25	25.00	20.75	8.50	6.50	1.58	1.02
14	神功開寶	"	F-W	"	1.20	—	—	—	—	—	—
15	神功開寶	S D 12502	F-W	"	2.75	25.00	21.00	9.00	6.25	1.35	0.61

图 27-3 長岡京左京(宮 125 次)調查出土錢貨計測表

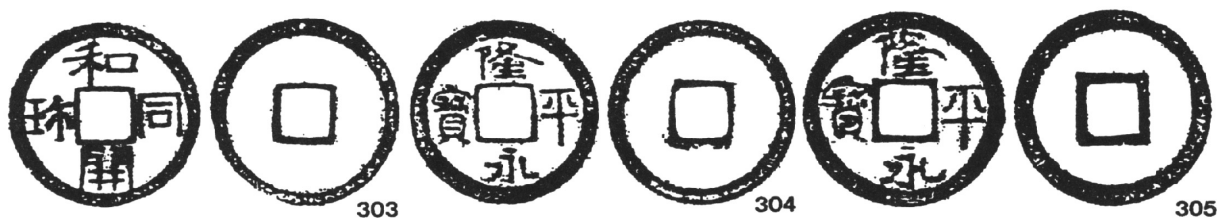


图 28-1 長岡京右京 25 次調査出土錢貨

錢種	番号	重さ (g)	G (mm)	N (mm)	g (mm)	n (mm)	T (mm)	t (mm)
和同開珎	303	26.56	24.75	21.80	7.20	6.45	1.60	0.44
隆平永寶	304	35.55	24.65	20.70	7.40	6.60	1.90	0.72
隆平永寶	305	38.41	26.00	22.40	7.85	6.60	1.90	0.61

图 28-2 長岡京右京 25 次調査出土錢貨計測表

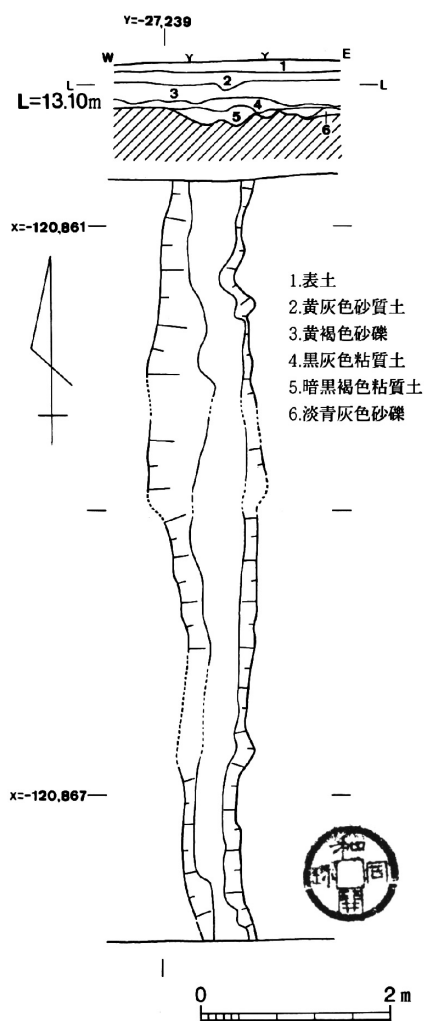


图 29 長岡京右京 126 次調査 SD12601 実測図

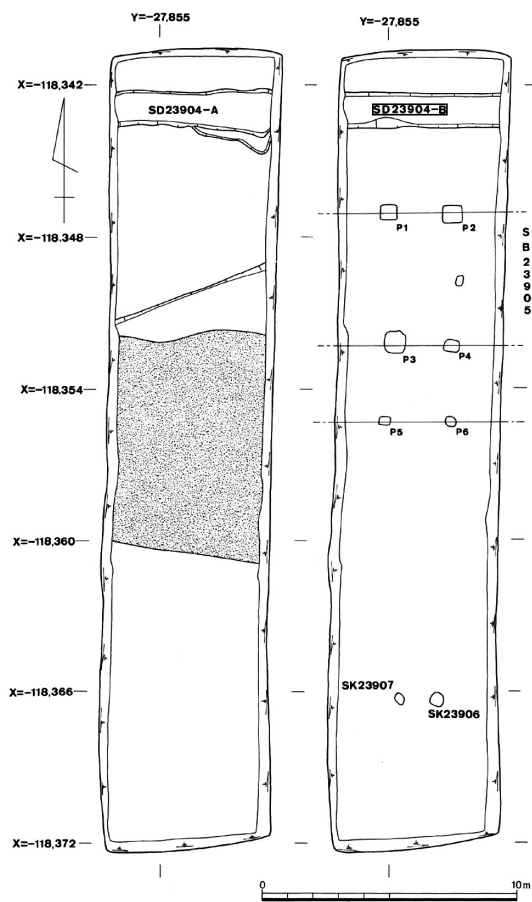


图 30-1 長岡京右京 239 次調査平面図



图 30-2 長岡京右京 239 次調査出土銭貨

出土遺構・層名	名称	第103図 遺物番号	W (g)	G (mm)	N (mm)	T (mm)	g (mm)	n (mm)	t (mm)
S D04-B 第2層	和同開珎 (初鑄年708)	75	2.1	24	20.5	9	8	6.5	7.5
"	神功開寶 (初鑄年765)	76	1.2	24	20	9	8	6.5	8.5
B-11区 第4層	貞觀永寶 (初鑄年870)	80	1.4	19	15	7	7	4.75	6.5
"	"	78	1.6	19.25	15.25	7.25	7.5	5	7
B-7区 第6層	"	79	2.1	19.5	16	7	7	5	6.5

图 30-3 長岡京右京 239 次調査出土銭貨計測表

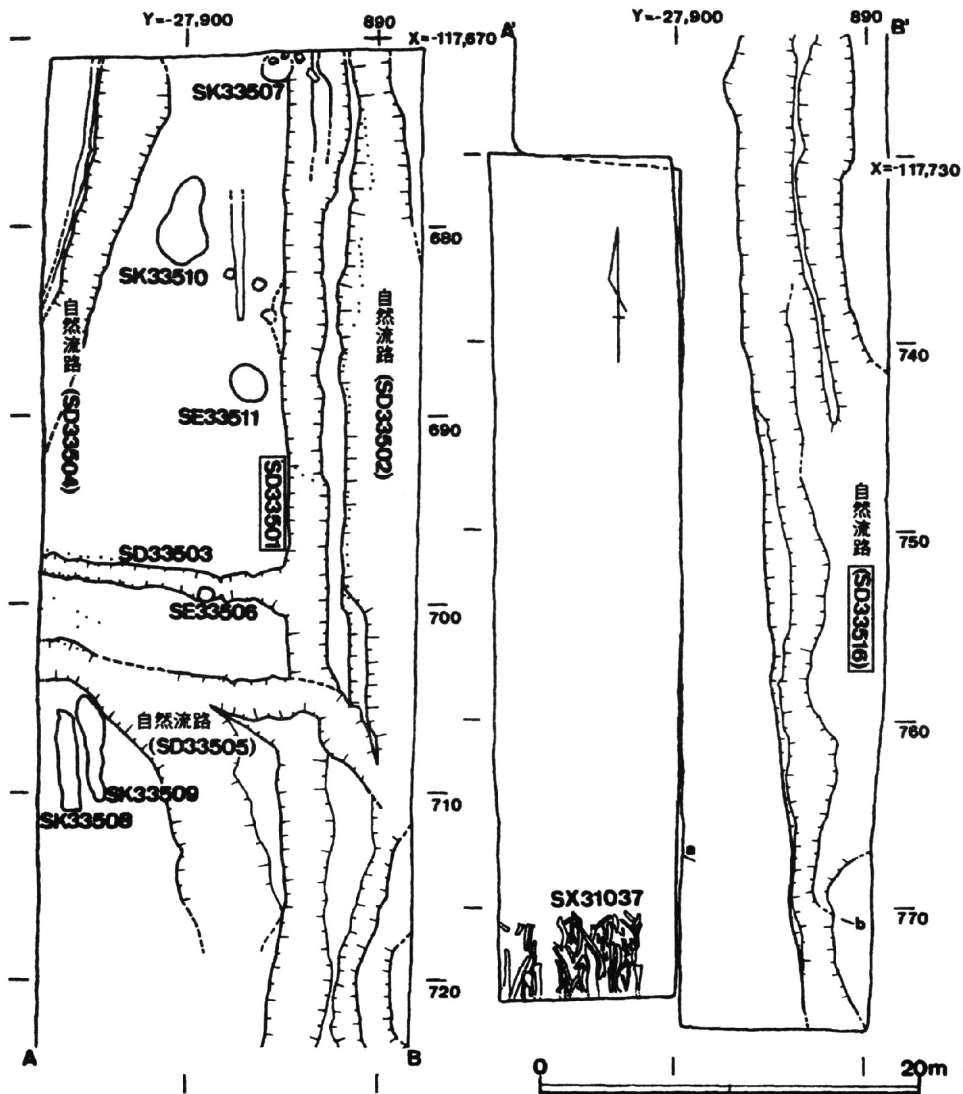


图 31-1 長岡京右京 335 次調査平面図

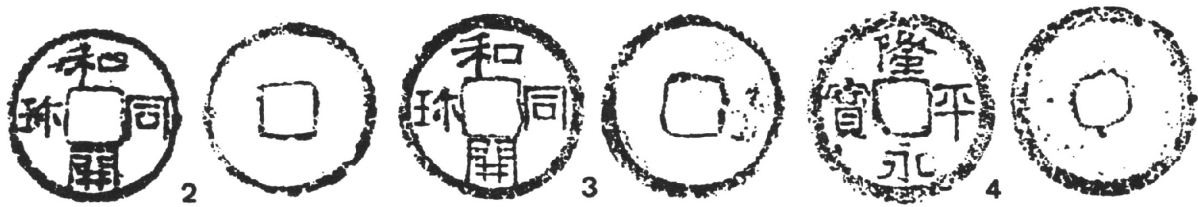


図 31-2 長岡京右京 335 次調査出土銭貨

番号	銭貨名	出土遺構ほか	重さ (g)	外 径	外郭内径	内郭外径	内郭内径	外郭幅	厚 さ
2	和同開珎	S D33516	2.06	23.87	21	(7.85)	6.57	1.2	0.48
3	和同開珎	S D33501	2.68	24.92	21.2	7.47	6.82	1.38	0.51
4	隆平永寶	S D33505	2.15	25.4	21.25	7.82	6.45	1.5	0.75

図 31-3 長岡京右京 335 次調査出土銭貨計測表

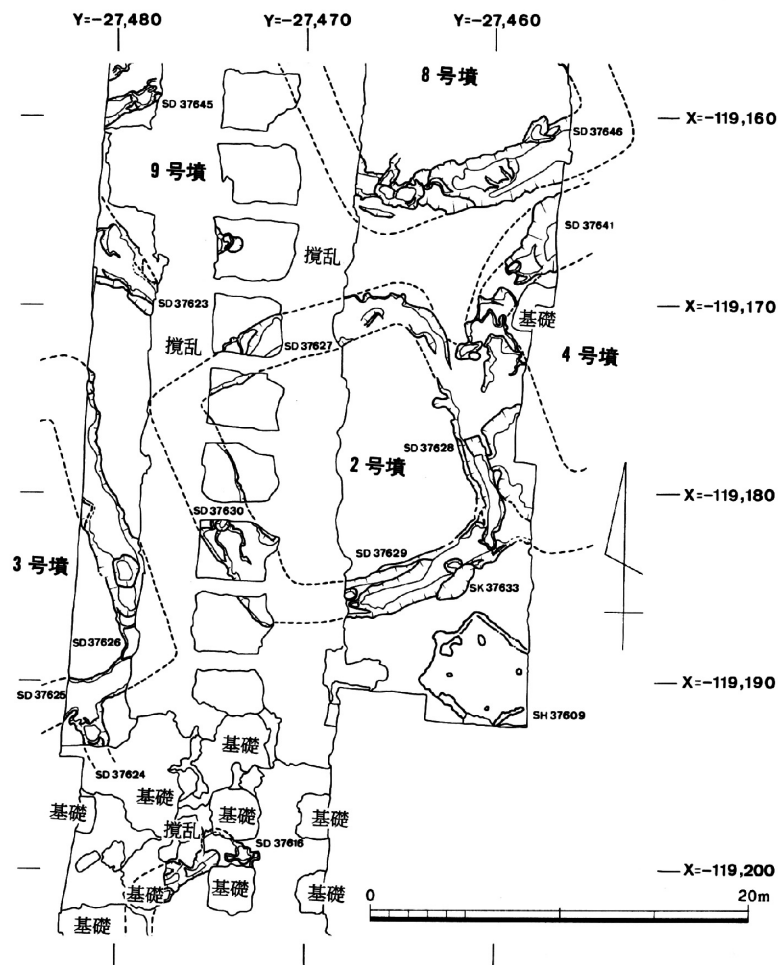


図 32 長岡京右京 376 次調査平面図

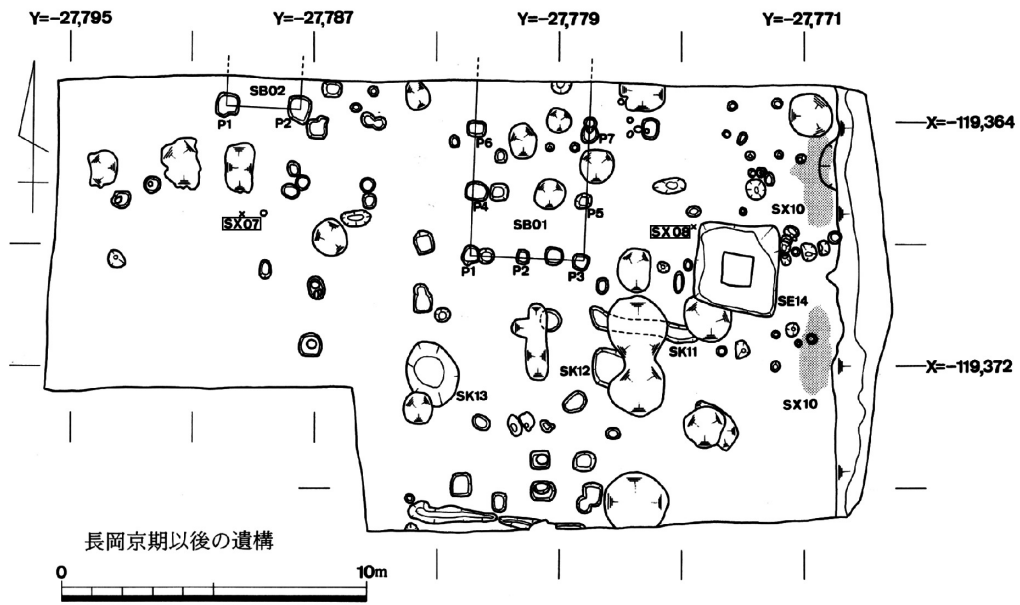


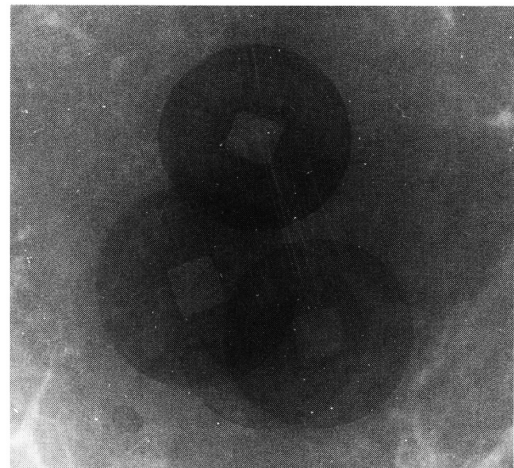
図 33-1 長岡京右京 389 次調査平面図



第148図 埋納遺構SX07



第149図 埋納遺構SX08



第150図 胞衣容器レントゲン写真
〔撮影 奈良国立文化財研究所〕

図 33-2 長岡京右京 389 次調査 SX07・08 検出状況・X線写真

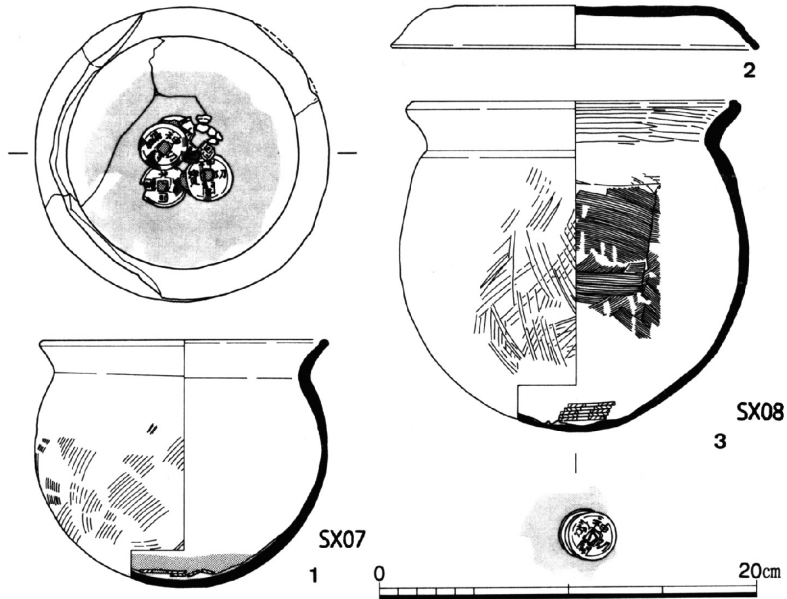


図 33-3 長岡京右京 389 次調査出土遺物実測図

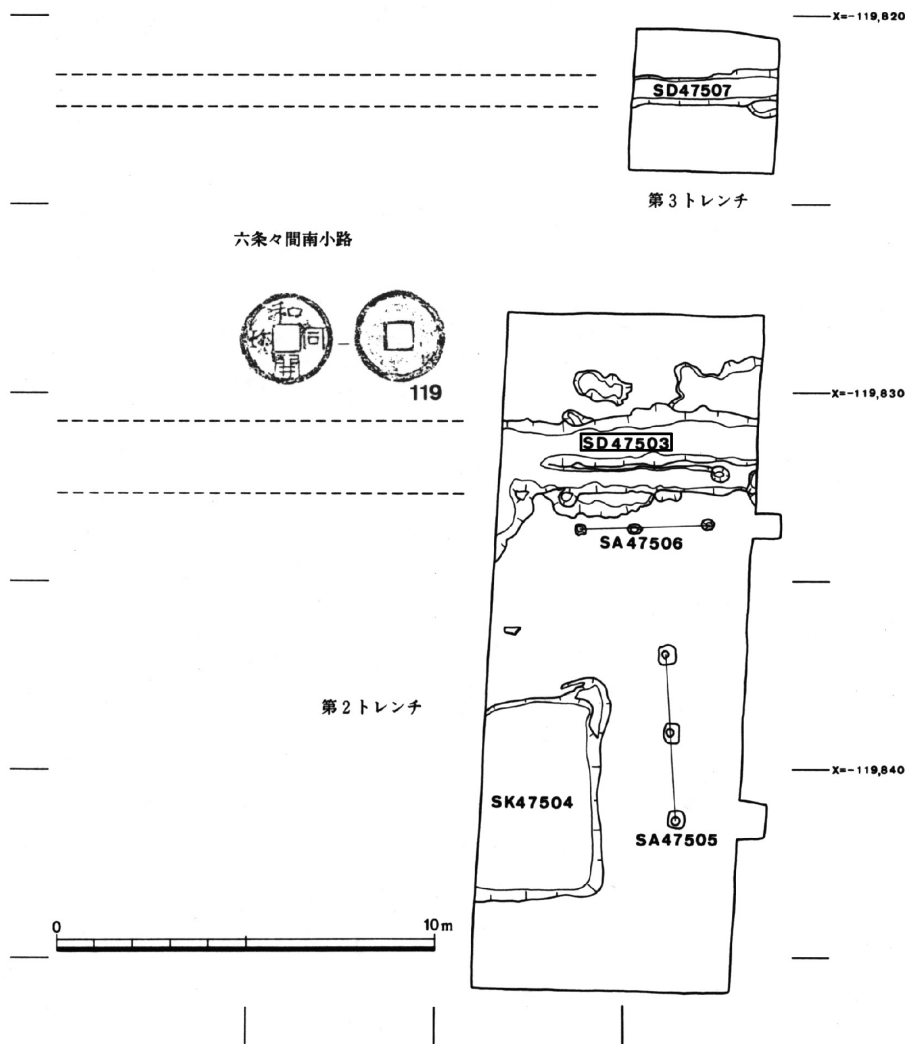


図 34 長岡京右京 475 次調査平面図

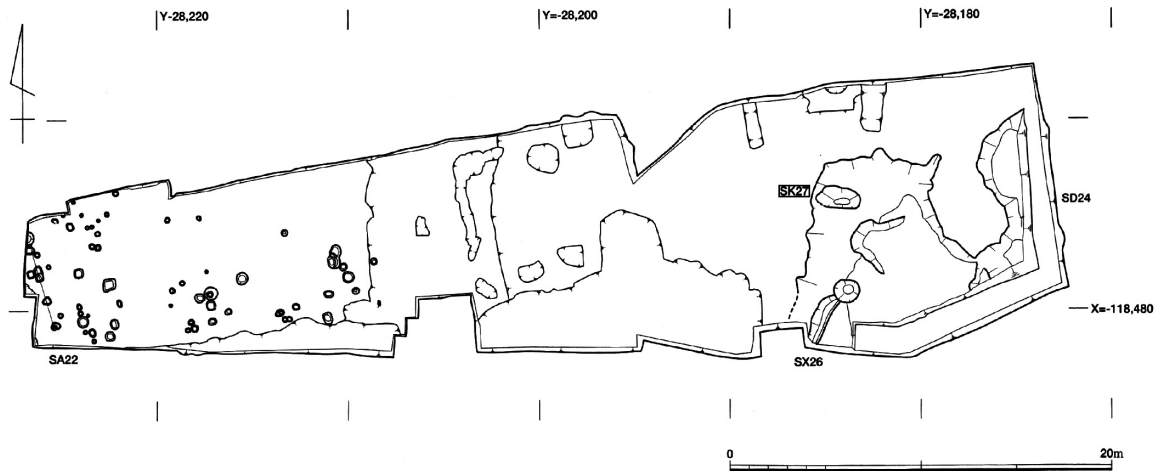
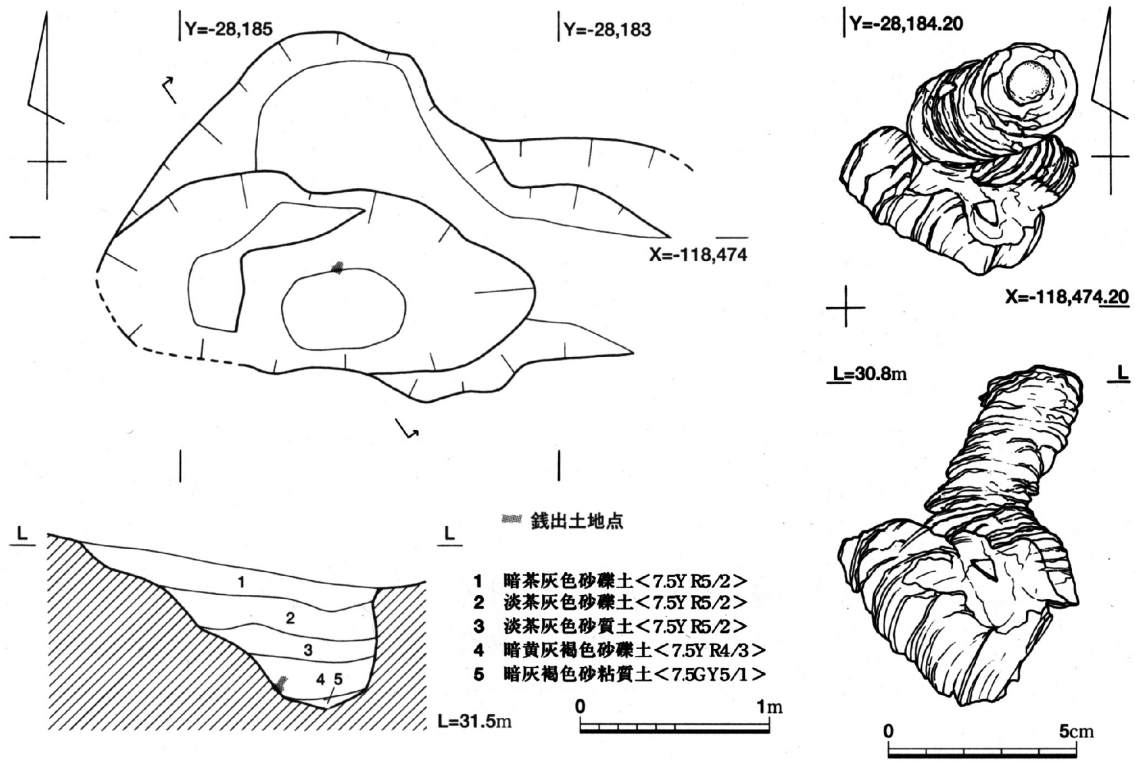


图 36-1 長岡京右京 740 次調査平面図



土坑 S K 27 実測図 (1/40)

縹錢出土状況図 (1/2)

图 36-2 長岡京右京 740 次調査 SK27 実測図・縹錢出土状況図

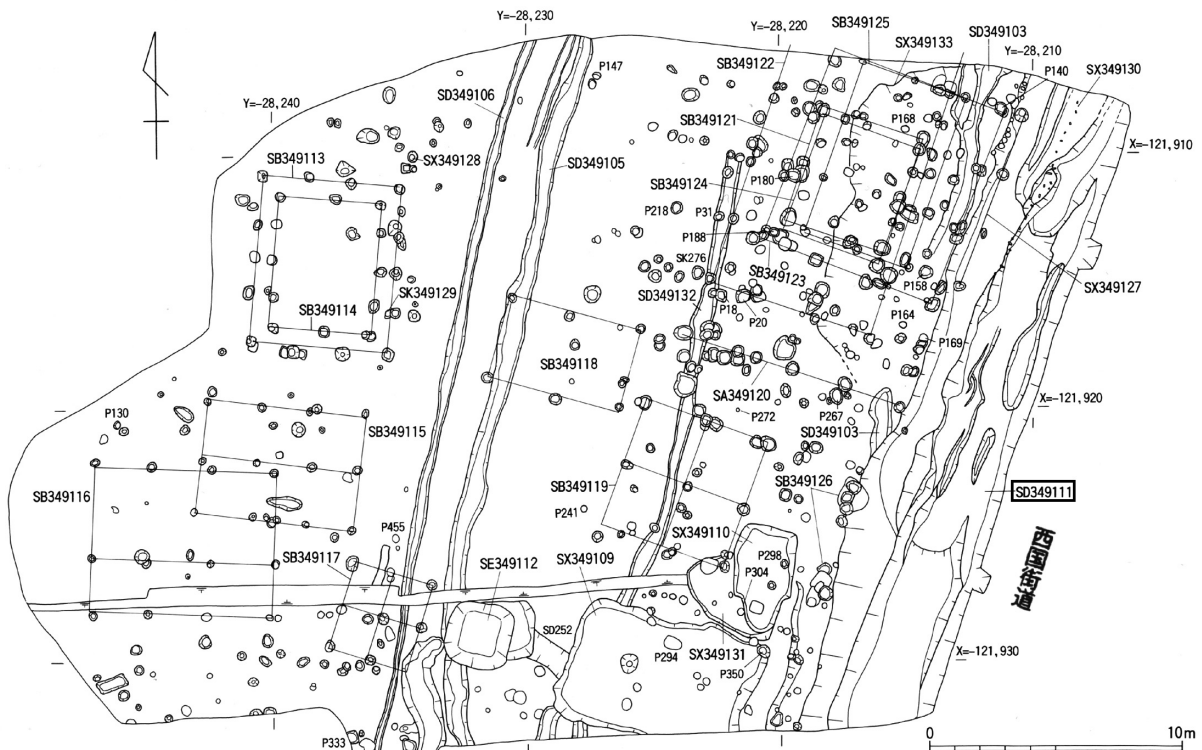


図 38-1 長岡京右京 349 次調査平面図

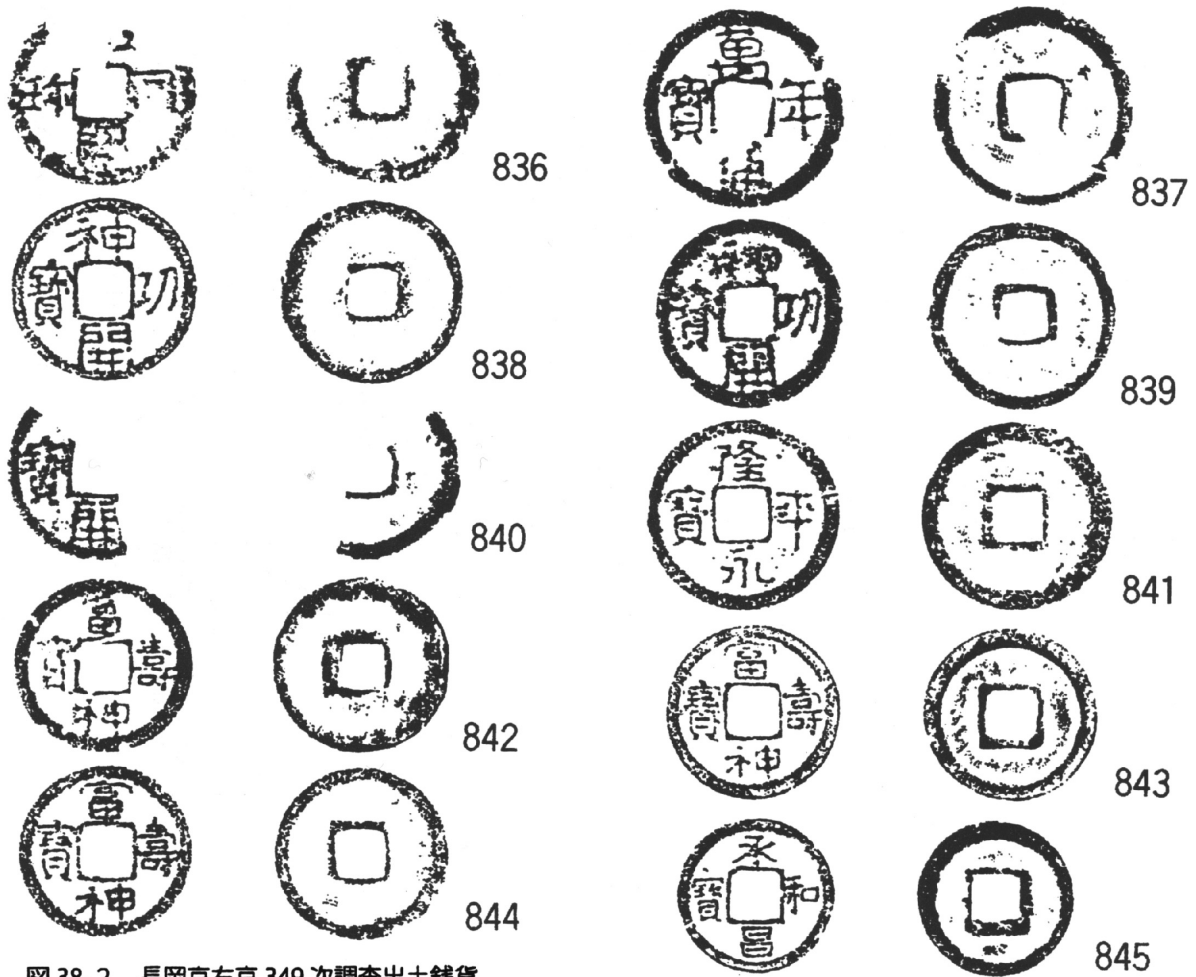


図 38-2 長岡京右京 349 次調査出土銭貨

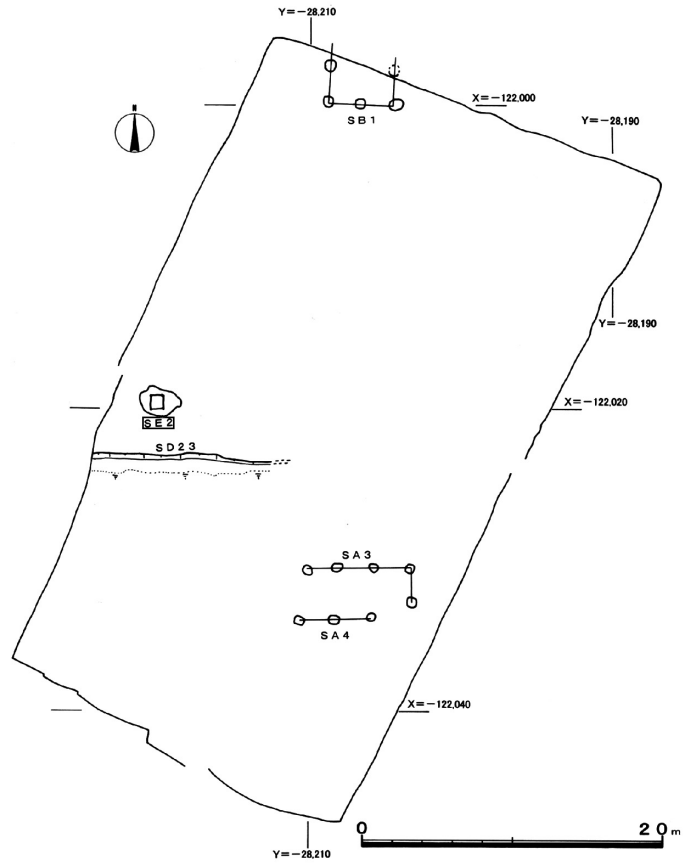


図 39 IK18 次調査平面図 (8 世紀末～9 世紀初頭頃)

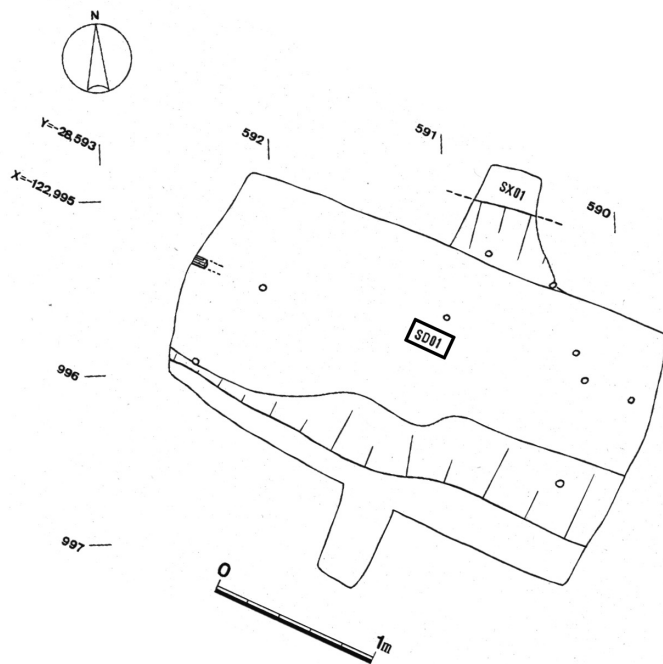


図 40 第 4 次山城国府 39 次調査平面図

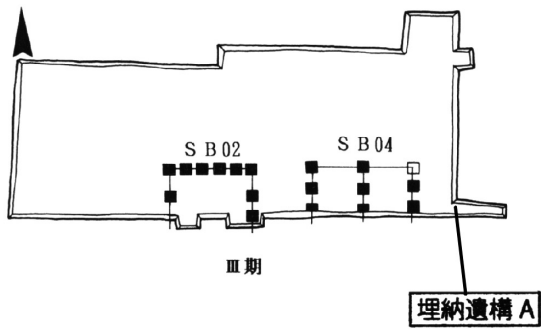
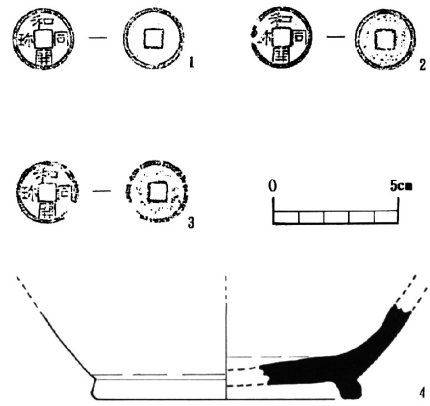


图 41-1 西浦遺跡Ⅲ期(奈良時代中頃)平面図



埋納遺構 A
图 41-2 西浦遺跡出土遺物

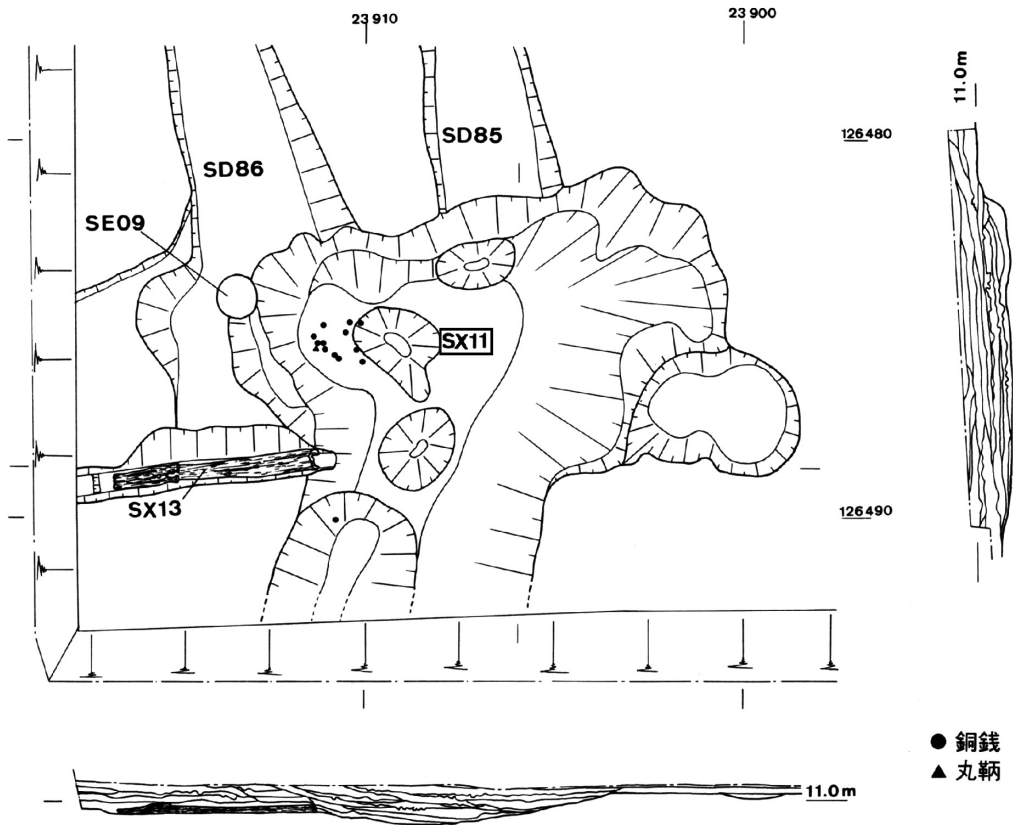


图 42-1 内里八丁遺跡平面図

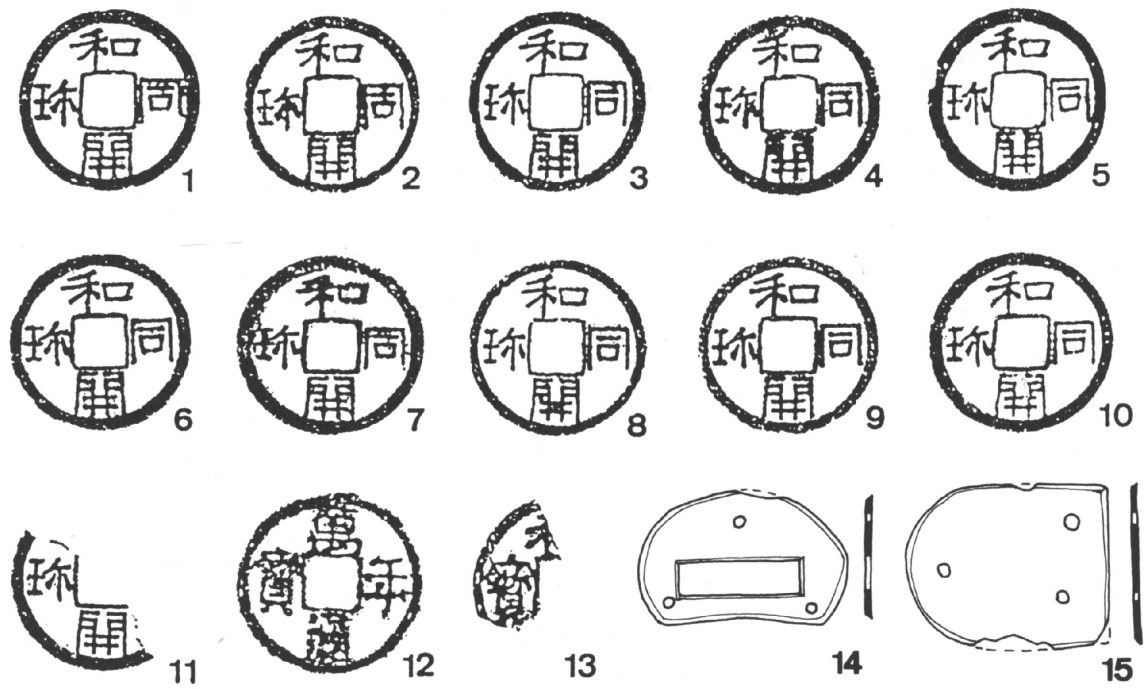


图 42-2 内里八丁遺跡 SX11 出土遺物

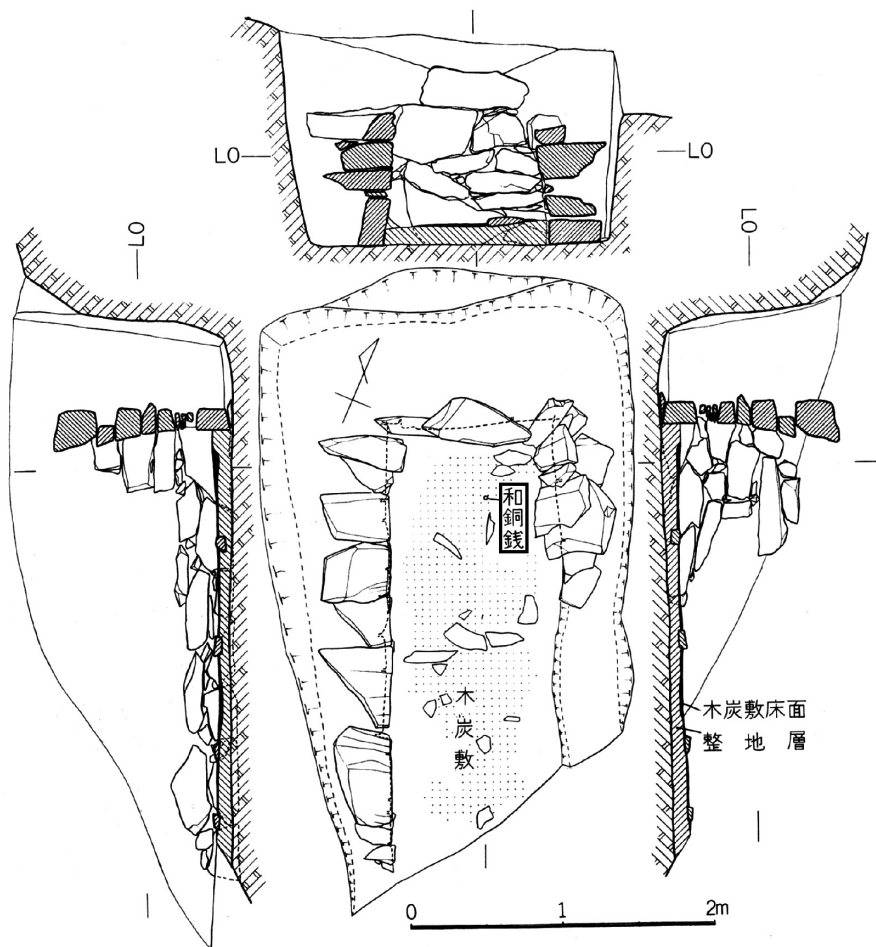


图 43 尼塚 5 号墳実測図

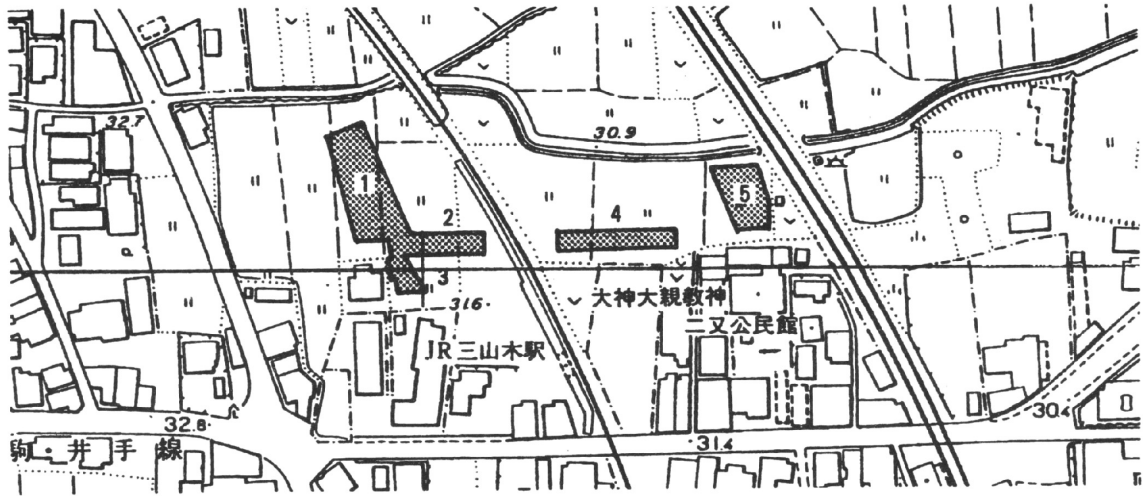


図 44-1 二又遺跡位置図

※数字はトレンチ番号

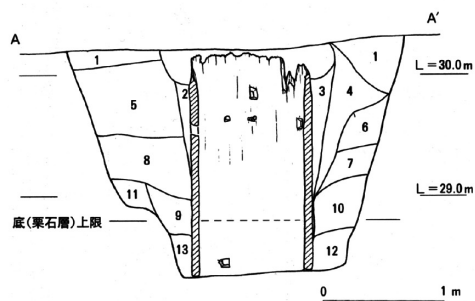
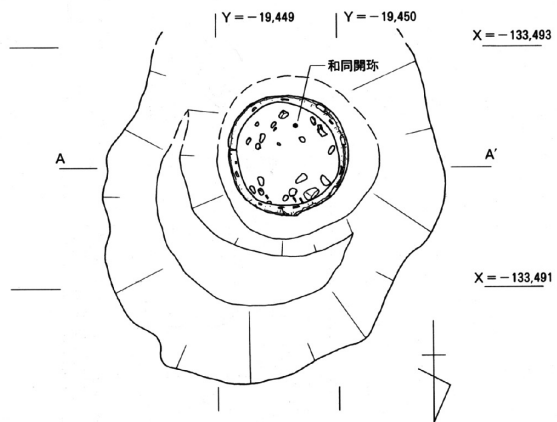
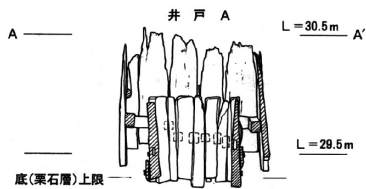
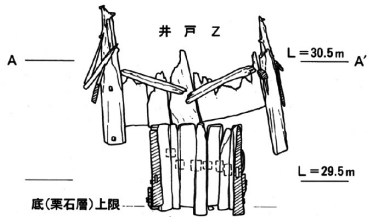
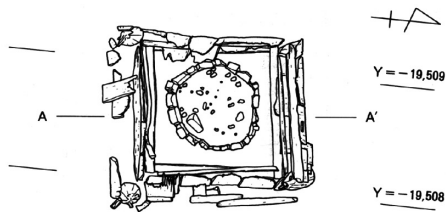
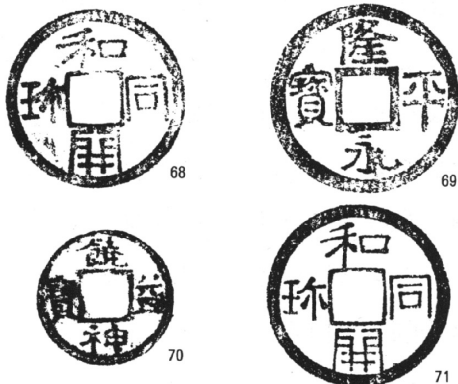


図 44-2 二又遺跡 SE98301 実測図



SE98301: 68~70 SE98429: 71

図 44-4 二又遺跡出土銭貨

- | | |
|------------------------|--------------------------------|
| 1. 黄褐色粘質土(砂まじり) | 8. 青灰色粘土暗灰色粘土ブロック混(5よりブロックが多い) |
| 2. 黒灰色粘質土 | 9. 青色粗土青灰色粗砂まじり(黒灰色ブロック少しまじる) |
| 3. 暗灰色粘質土(灰色砂まじり) | 10. 明青灰色砂 |
| 4. 青灰色粘土・暗灰色粘土互層 | 11. 青灰色粘土(暗灰色粘土若干まじる) |
| 5. 青灰色粘土(暗灰色粘土ブロックまじり) | 12. 黒灰色粘土 |
| 6. 青灰色粘土 | 13. 暗灰色粘土(礫まじり) |
| 7. 明青灰色粘土 | |

図 44-3 二又遺跡 SE98429 実測図

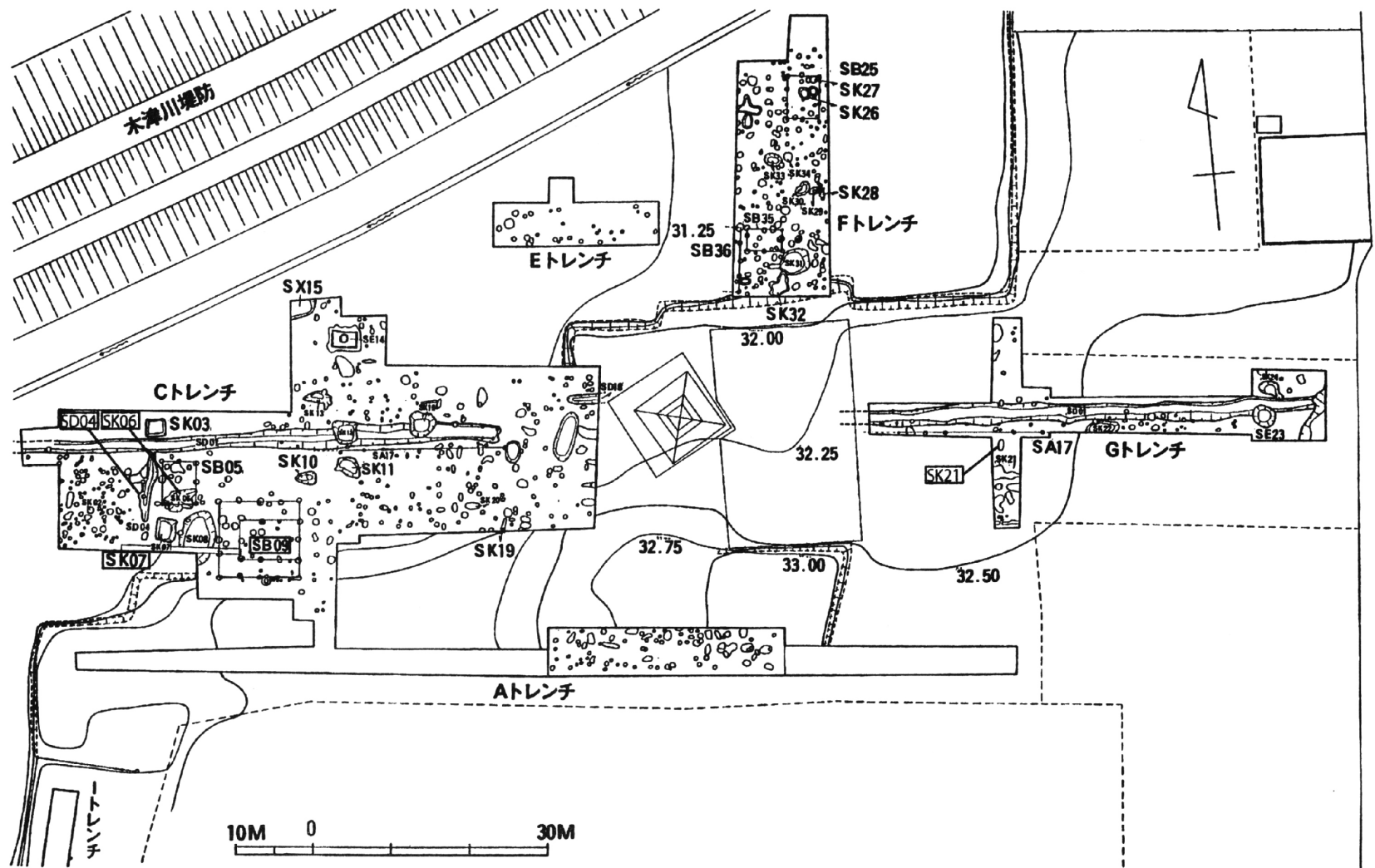


図 45-1 上津遺跡平面図

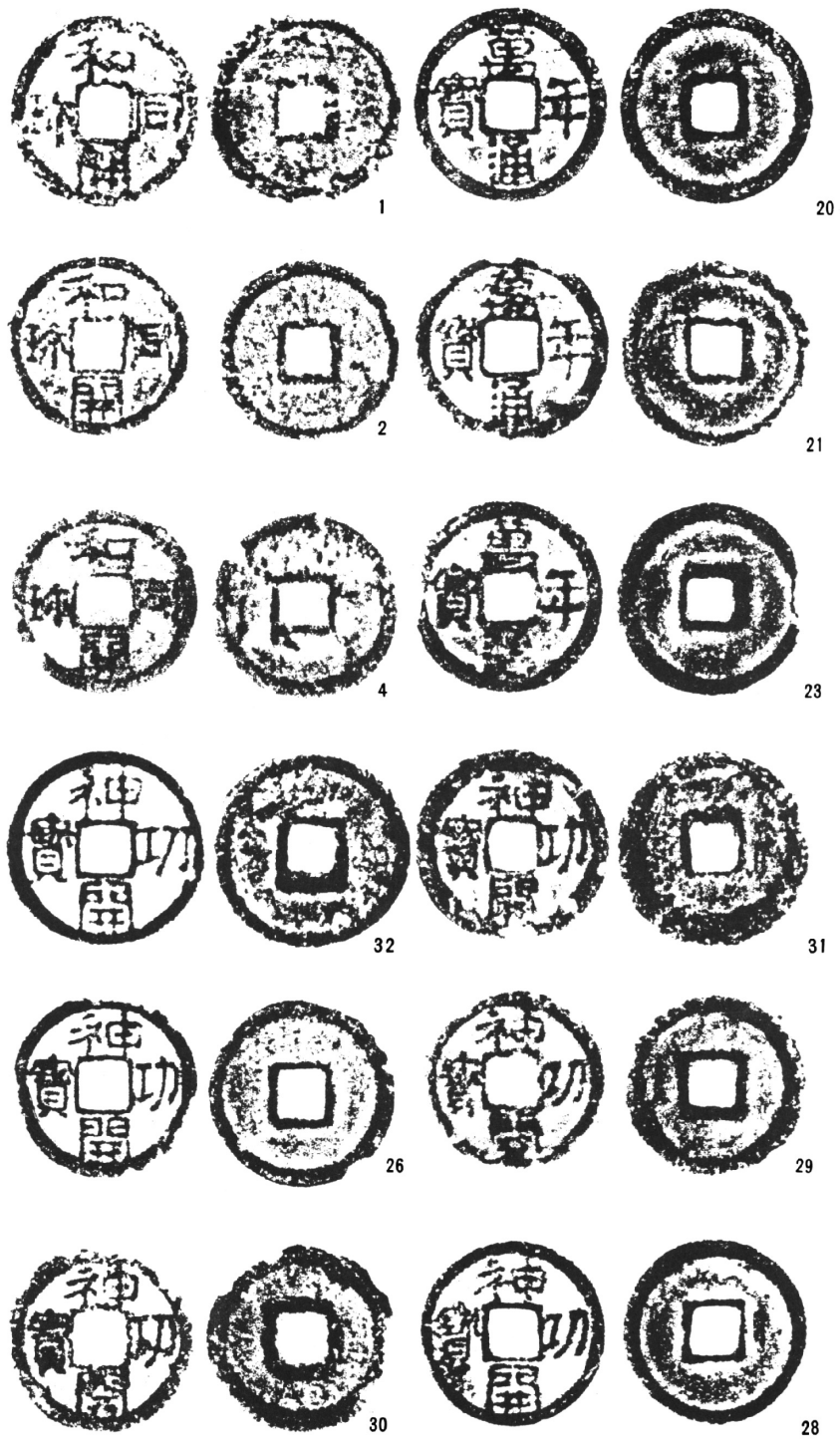


图 45-2 上津遺跡出土錢貨

付表7 銭貨一覧表 (単位=cm)

番号	種類	外径	内径	状態	出土地
1	和同開珎	2.6	2.2	完形。	Cトレンチ包含層
2	"	2.45	2.1	完形。	Cトレンチ包含層
3	"	2.6	2.15	開の字剥離。	Gトレンチ包含層
4	"	2.5	2.1	ほぼ完形。	Gトレンチ包含層
5	"	2.5	2.1	二次的な火をうける。	S K07
6	"	2.45	2.0	ほぼ完形。腐蝕。	S B09
7	"	2.5	2.15	¼のこる。	S D04
8	"			½のこる。	S D04
9	"	2.45	2.1	完形。錆化著しい。	S D04
10	"	2.5	2.1	完形。錆化著しい。	S D04
11	"			¼のこる。	S D04
12	"			½のこる。	S K06
13	"			¼のこる。	Cトレンチ包含層
14	"	2.45	2.1	錆化著しい。	Cトレンチビット
15	"	2.5	2.1	腐蝕。	Cトレンチ包含層
16	"	2.55	2.2	完形。	Cトレンチ包含層
17	"	2.6	2.1	ほぼ完形。	Cトレンチ包含層
18	"	2.5	2.15	書体が明確。	S K21
19	萬年通寶	2.6	2.2	やや腐蝕する。	S D01上層
20	"	2.6	2.2	錆化著しい。一部を欠く。	Gトレンチ包含層
21	"	2.6	2.2	錆化著しい。	Gトレンチ包含層
22	"	2.65	2.25	良品。	Gトレンチ包含層
23	"	2.65	2.2	良品。	Gトレンチ包含層
24	神功開寶	2.3	2.1	周縁部腐蝕。	S D01上層
25	"	2.5	2.1	錆化著しい。	S D01上層
26	"	2.5	2.05	良品。	S D01上面
27	"	2.55	2.15	錆化著しい。	Gトレンチ包含層
28	"	2.5	2.15	錆化著しい。	Gトレンチ包含層
29	"	2.45	2.1	腐蝕する。	Gトレンチ包含層
30	"	2.55	2.1	腐蝕する。	Gトレンチ包含層
31	"	2.6	2.05	錆化著しい。	Gトレンチ包含層
32	"	2.7	2.3	良品。	Gトレンチ包含層
33	"	2.5	2.1	腐蝕する。	Gトレンチ包含層
34	不明			錆化著しい。	S D01上層
35	"			小片。	Gトレンチ包含層
36	"				Fトレンチ包含層

図 45-3 上津遺跡出土銭貨計測表

加茂村錢司金鑄山遺跡發見坩堝及轆口實測圖

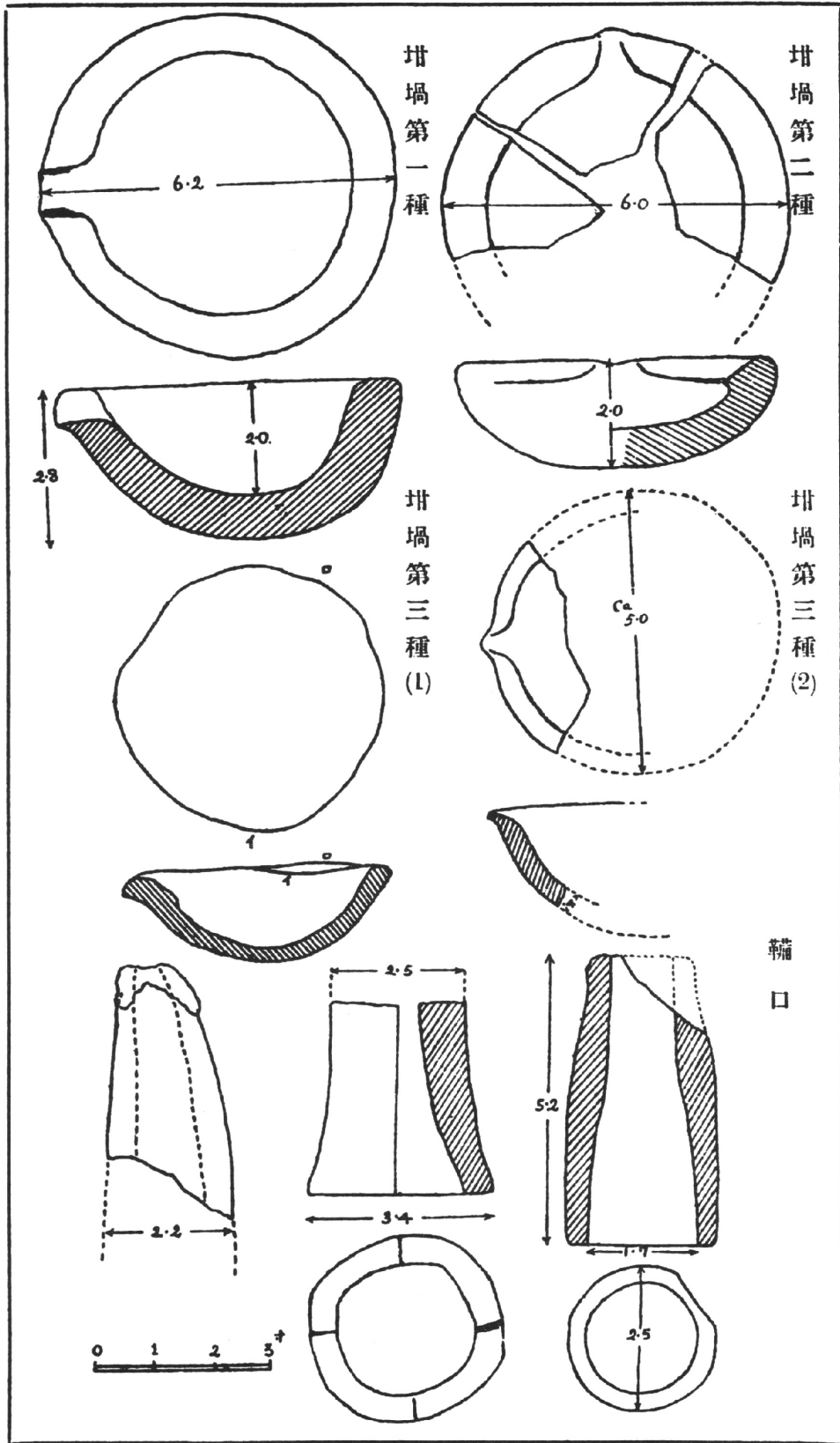


图 46-3 錢司遺跡出土遺物實測圖 (1)

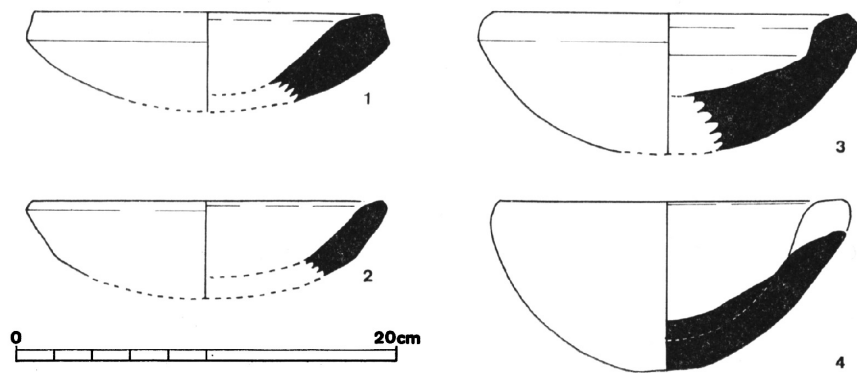


图 46-4 钱司遗址出土遗物实测图(2)

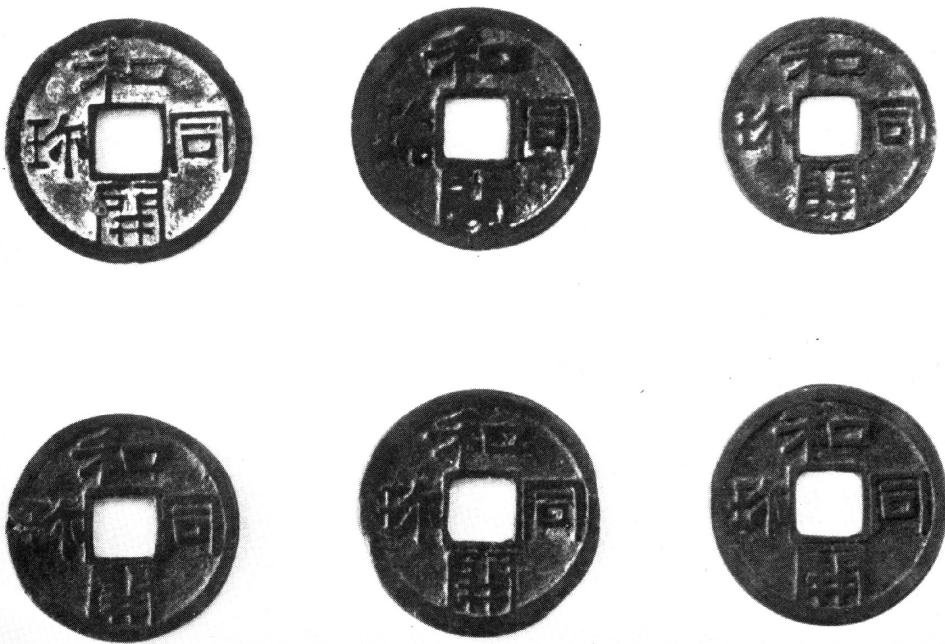


图 46-5 钱司遗址出土钱货